

# 鎌倉女子大学

鎌倉女子大学短期大学部

Kamakura Women's University

2022

## 学生募集要項

◆ インターネット出願 ◆

- 学校推薦型選抜 (学部・専願制／一般) (短大・併願制／一般)
- 一般選抜 (特待生チャレンジ) (前期) (後期)
- 一般選抜 (共通テスト利用) 前期・後期
- 社会人特別選抜

### Contents

2	大学の教育方針(3つのポリシー)				
3	家政学部の教育方針(3つのポリシー)				
7	児童学部の教育方針(3つのポリシー)				
10	教育学部の教育方針(3つのポリシー)				
12	短期大学部の教育方針(3つのポリシー)				
14	入学資格				
15	募集人員				
16	入学試験日程				
17	入学検定料免除制度について				
18	入学金のスライド制度について 入学検定料の返還について				
19	特待生チャレンジについて				
		20	学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)		
			学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)		
		25	一般選抜(学部／特待生チャレンジ)		
			一般選抜(学部)前期		
			一般選抜(学部)後期		
			一般選抜(短大／特待生チャレンジ)		
			一般選抜(短大／国語1教科)前期		
			一般選抜(短大／国語1教科)後期		
		31	地区入試会場／受験の際の宿泊ホテル		
				32	一般選抜(共通テスト利用)前期
					一般選抜(共通テスト利用)後期
				35	社会人特別選抜
				37	インターネット出願の利用について
				42	インターネット出願Q&A
				43	合格発表について
				44	学費・その他の納入金
				45	入学手続時納入金について 高等教育の修学支援新制度
				46	特待生チャレンジ 奨学金 国の教育ローン

---

## 鎌倉女子大学の教育方針(3つのポリシー)

---

### 大学のディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

鎌倉女子大学は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 本学固有の教育理念であると同時に、古今にわたる普遍の教育理念である「感謝と奉仕に生きる」を常に目途としながら、本学固有の教育目標である「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自らの職能・職域を通じて健全な社会の創造に貢献し、自らの未来を力強く切り拓くため、所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。
2. 大学共通の「総合教育科目」及び各学部・学科の設置目的に照らして編成された「専門教育科目」とともに修得していること。

### 大学のカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

鎌倉女子大学は、ディプロマポリシーを達成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. カリキュラムの枠組みは、「建学の精神」、「精神と文化」、「社会と産業」、「生命と自然」、「生活と技術」、「健康とスポーツ」、「情報科学」、「外国語」の8分野からなる「総合教育科目」と学部・学科固有の「専門教育科目」によって構成される。
2. 学修課程の体系性及び順序性と学修者の志向性及び選択性を尊重し、各科目を以下のような重層的・複合的構造の中に配置する。
  - ① 基礎的学力、教養的知性、倫理性、身体性を培う「リベラルアーツスタディーズ」と学部・学科の専門力を養う「プロフェッショナルスタディーズ」の組み合わせを縦軸としたカリキュラム構造。
  - ② 将来の職能・職域の選択肢を多様に確保するため、各種免許・資格の取得に向けての「免許・資格プログラム」と免許・資格に限定されない一般社会で広く活躍できる資質・能力を養う「企業学習プログラム」の組み合わせを横軸としたカリキュラム構造。
3. 大学での学修を可能にするアカデミックな基礎的知識・技能を養う初年次教育から、各種講義、演習、実習、実験、実技、当該学科の総合研究に至る、多様な教授内容と教授方法に基づく授業を設置する。
4. 学修者が履修過程を振り返りながら、着実な学修課程を歩むことができるよう、GPA制度に基づく成績評価を行う。
5. 各授業科目について、当該の授業内容のみならず、学修者の汎用的能力の育成及び主体的な学びを促進するために貢献できるシラバスを作成する。
6. 学修者が着実な学修課程を歩むことができるよう、クラスアドバイザー等による学習活動全般にわたる助言指導を定期的に行う。

### 大学のアドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

鎌倉女子大学は、ディプロマポリシーに謳われた学修の到達目標を実現できる潜在力をもった学生に門戸を開くため、以下の入学選抜の方針を定める。

また、多様な能力及び個性をもった学生を受け入れ、大学教育を活性化させ、多様な社会の創造に貢献するために、それにふさわしい人材を得るための多様な入試方法を定める。

1. 高等学校までの学習課程を通じて身につけなければならない基礎的学力及び倫理性を備えている人。
2. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、学修課程を通じてこれを身につける努力を惜しまない人。
3. 教職員の指導のもと、本学が行う教育活動に積極的に参加し、これにふさわしい学士力を身につける努力を惜しまない人。
4. 上記の学生に門戸を開くため、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人特別選抜の各種入試方法を設定する。

# 家政学部(家政保健学科・管理栄養学科)の教育方針(3つのポリシー)

## 家政学部のディプロマポリシー

家政学部は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、家政学、保健学、または栄養学等の分野における学術知見と方法の修得を通じて、健康で文化的な人間の生存とその形式、また健全で多様性に富む生活世界を創造できること。
2. 所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。

## 家政学部のカリキュラムポリシー

家政学部は、ディプロマポリシーを達成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学修者が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識・技能を修得することができるカリキュラムの編成。
2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学修者が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を確保できるカリキュラムの編成。
3. 家政学、保健学、または栄養学等に関する専門的知識・技能を、生活世界の様々な場面に即して活用できる実践的な応用能力を開発するカリキュラムの編成。

## 家政学部のアドミッションポリシー

家政学部は、本学部のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある以下のような学生を求める。

1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
2. 専門知識を学ぶための基礎的学力に基づき、それぞれの学科で掲げている義務と目標を意欲と努力をもって学びとろうとする人。
3. それぞれの学科で修めた学びの成果を活かして、グローバル化されていく生活世界全体の質の向上を目指して、自らの生きる地域・社会に貢献しようとグローバルに思考し、行動できる人。

## ■ 家政保健学科の教育方針(3つのポリシー)

### [家政保健学科のディプロマポリシー]

家政保健学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位を修得した学修者に、「学士(家政学)」の学位を授与する。

#### 1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・人間生活と直接関わる家政学及び保健学の専門的知識を体系的に理解している。

#### 2. 汎用的技能

##### ① コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

##### ② 数量的スキル

- ・家庭生活を中心とした人間生活に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。

##### ③ 情報リテラシー

- ・情報通信技術(ICT)を用いて、家庭生活を中心とした人間生活に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

##### ④ 外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

##### ⑤ 論理的思考力

- ・生活者の視点で、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

##### ⑥ 課題・解決力

- ・現代社会における生活課題を発見し、これを創意・工夫によって解決を図ることができる。

#### 3. 態度・志向性

##### ① 自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。

##### ② チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

##### ③ 道徳の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、くらしと健康に関する専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

##### ④ 社会的責任

- ・家政学及び保健学の専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

##### ⑤ 審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの・善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

##### ⑥ 生涯学習力

- ・くらしと健康に関する専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

##### ⑦ 健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、人々の生活の質的向上を目指し、家族と個人のウェル・ビーイングを実現できる。

#### 4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・家庭や地域、企業活動など私たちの身近にある課題について、一人の生活者の視点で追究する力を身につけている。
- ・時代に合ったライフスタイルや、健康で快適な生活を、自ら創造、提案する力を身につけている。
- ・生活関連企業において、または中学校・高等学校の教員(家庭・保健)、小学校・中学校・高等学校の養護教諭として活躍できる資質・能力を身につけている。

### [家政保健学科のカリキュラムポリシー]

家政保健学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。

2. 「専門教育科目」においては、家政学及び保健学の幅広い領域に関する科目を、「生活環境デザイン」、「生活経営情報」、「教育健康福祉」の3つのキーワードに準じて体系的に配置し、家庭生活を中心とした人間生活に関する専門的知識・技能を身につけ、時代に合ったライフスタイルを創造し得る能力を養う。

3. 講義に加え、演習、実験及び実習等の授業方法を組み合わせることにより、生活課題を解決する実践力を養う。

4. 初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」を置き、大学での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。

5. 1年次に、必修科目「家政学」、「保健学」、「生活経営学(家庭経済学を含む)」、「家族関係学」を置き、家政保健学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。

6. 2年次以降に、専門的知識の応用・各論に関する科目を置き、汎用的技能を高め、社会で活動するための資質・能力を養う。

7. 3年次及び4年次に、必修科目「家政保健学総合研究」を置き、2年間継続的に学修・研究することで、専門性を深める。

8. 3年次及び4年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。

9. 「免許・資格プログラム」においては、中学校・高等学校教諭1種免許状(家庭・保健)及び養護教諭1種免許状、准学校心理士、フードスペシャリスト、インテリアプランナー登録資格等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。

10. 「企業学習プログラム」においては、家政学及び保健学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目を置き、専門的知識・技能を活用して生活関連企業等で活躍できる資質・能力を養う。

### [家政保健学科のアドミッションポリシー]

家政保健学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 家庭を中心とする人間生活と健康福祉に関心があり、生活者の視点から諸問題を探求し、実践力を身につけたいと考える人。

2. 目的意識を持って、家族と個人を取り巻く社会や環境を観察し、積極的に課題に取り組む姿勢のある人。

3. 専門的知識・技能を活かし、企業や地域で貢献する、または中学校・高等学校の教員(家庭科・保健科)、小学校・中学校・高等学校の養護教諭として社会に貢献する意欲のある人。

## ■管理栄養学科の教育方針(3つのポリシー)

### [管理栄養学科のディプロマポリシー]

管理栄養学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位数を修得した学修者に、「学士(栄養学)」の学位を授与する。

#### 1.知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・食・栄養・健康に関する専門的知識を体系的に理解している。

#### 2.汎用的技能

##### ①コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

##### ②数量的スキル

- ・食・栄養・健康に関する数値やデータを解析し、活用することができる。

##### ③情報リテラシー

- ・情報通信技術(ICT)を用いて、食・栄養・健康に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

##### ④外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

##### ⑤論理的思考力

- ・科学的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

##### ⑥課題・解決力

- ・現代社会における食・栄養・健康に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

#### 3.態度・志向性

##### ①自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。

##### ②チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

##### ③道徳の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、健康管理や栄養教育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

##### ④社会的責任

- ・食・栄養・健康の専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

##### ⑤審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

##### ⑥生涯学習力

- ・健康管理や栄養教育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

##### ⑦健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、人間の生命と尊厳を尊重し、国民のニーズに対応した健康生活の維持増進に貢献することができる。

#### 4.統合的な学修経験と創造的思考力

- ・健康管理、給食管理等、総合的な栄養マネジメントができる力を身につけている。
- ・傷病者及び健常者の栄養評価・判定に基づく適切な指導を行うことができるとともに、施設における給食及び栄養管理の知識・技能を活用できる力を身につけている。
- ・医療・福祉・教育等の分野で管理栄養士として活躍できる資質・能力を身につけている。

### [管理栄養学科のカリキュラムポリシー]

管理栄養学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1 「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。

2 「専門教育科目」においては、管理栄養士、また栄養教諭の養成を目的として科目を系統的に配置し、食生活を通して疾病を予防・治療し、健康を維持増進したいという国民的課題に応え得る資質・能力を養う。

3 講義・演習と併行し、実験・実習を行うことで、専門的知識を深めると同時に実践力を養う。

4 初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」を置き、大学での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。

5 1年次に、化学、生物学、生化学、解剖生理学、基礎栄養学等に関する必修科目を置き、管理栄養学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。

6 2年次以降に、応用栄養学、臨床栄養学、給食経営管理等に関する必修科目を置き、専門的知識・技能を養う。

7 3年次及び4年次に、必修科目「管理栄養学総合研究」を置き、2年間継続的に学修・研究することで、専門性を深める。

8 3年次及び4年次に、管理栄養士の実践活動の場である病院等において臨地・校外実習を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。

9 「免許・資格プログラム」においては、管理栄養士国家試験受験資格、栄養士、食品衛生監視員、食品衛生管理者、栄養教諭1種免許状等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。

10 「企業学習プログラム」においては、食・栄養・健康と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目を置き、専門的知識・技能を活用して食・栄養・健康関連企業等で活躍できる資質・能力を養う。

### [管理栄養学科のアドミッションポリシー]

管理栄養学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1 自然科学及び食と健康に関わる分野に関心があり、たゆまぬ探究心をもって積極的に学修に取り組む意欲のある人。

2 他者とコミュニケーションをとることのできる豊かな人間性をもち、人間の生命を預かる強い自覚を有する人。

3 将来、健康・医療・福祉・教育等の分野で管理栄養士として活躍しようという目的意識があり、地域・社会に貢献しようとする人。



# 児童学部(児童学科・子ども心理学科)の教育方針(3つのポリシー)

## 児童学部のディプロマポリシー

児童学部は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自然的・社会的・文化的環境の中に成立する児童の生活・発達・教育・心理・活動等を学問的に理解し、児童の知情意にわたる調和的な育成を支援できること。
2. 所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。

## 児童学部のカリキュラムポリシー

児童学部は、ディプロマポリシーを達成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学修者が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識・技能を修得することができるカリキュラムの編成。
2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学修者が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を確保できるカリキュラムの編成。
3. 児童と児童を取り巻く家庭・地域・学校・社会にわたる高度の理解に基づき、児童の知情意にわたる調和的な育成を支援できる応用力・対応力を養うカリキュラムの編成。

## 児童学部のアドミッションポリシー

児童学部は、本学部のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある以下のような学生を求める。

1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
2. 児童の指導・相談・援助等に対する強い関心を抱き、その活動に資する知識及び技能を身につけるべく努力を惜しまない人。
3. 児童が生きる生活世界及び文化環境等に対する強い関心を抱き、これに関する学修及び研究への熱意を有する人。

## ■ 児童学科の教育方針(3つのポリシー)

### [児童学科のディプロマポリシー]

児童学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位数を修得した学修者に、「学士(児童学)」の学位を授与する。

1. **知識・理解**
  - ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
  - ・児童の全体像及び教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化等、児童学の専門的知識を体系的に理解している。
2. **汎用的技能**
  - ① **コミュニケーション・スキル**
    - ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
  - ② **数量的スキル**
    - ・児童の教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。
  - ③ **情報リテラシー**
    - ・情報通信技術(ICT)を用いて、児童の教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化に関する情報を収集・分析し、活用することができる。
  - ④ **外国語運用能力**
    - ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。
  - ⑤ **論理的思考力**
    - ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。
  - ⑥ **課題・解決力**
    - ・現代社会における児童を取り巻く課題を発見し、解決を図ることができる。
3. **態度・志向性**
  - ① **自己管理力**
    - ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。
  - ② **チームワークとリーダーシップ**
    - ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

- ③ **道理の感覚**
    - ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、児童に関わる専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。
  - ④ **社会的責任**
    - ・児童学の専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。
  - ⑤ **審美的なものに自己を差し向けること**
    - ・美しいもの・善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。
  - ⑥ **生涯学習力**
    - ・児童に関わる専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。
  - ⑦ **健康推進**
    - ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持増進に貢献することができる。
4. **統合的な学修経験と創造的思考力**
    - ・児童学全般に関わる専門的知見を児童の育成支援に統合的に活用できる力を身につけている。
    - ・急速に変化する現代社会の中で、次世代を育成していく実践的スキルを身につけている。
    - ・保育士、幼稚園・小学校の教員として、または児童関連企業において活躍できる資質・能力を身につけている。

### [児童学科のカリキュラムポリシー]

児童学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。
2. 「専門教育科目」においては、教育・保育・福祉・社会・心理・保健・表現文化の各専門分野に関する科目を、「初等教育」、「児童福祉」、「児童発達臨床」、「表現文化」、「子どもと健康」の5つの学びのキーワードに準じて総合的に配置し、児童が望ましい発達・成長を遂げることを援助するための理論と実践を様々な観点から理解する。
3. 講義に加え、演習、実習等の授業方法を組み合わせることにより、身体的・芸術的・言語的表現力を高め、教育・保育の現場で通用する実践力を養う。
4. 初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」を置き、大学での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。
5. 1年次に、必修科目「児童学」、「教育原理」、「子ども家庭福祉」、「発達心理学」、「子どもの保健」、「児童文化①」を置き、児童学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。
6. 2年次以降に、児童学全般を幅広く学べる科目を多数置き、身につけたい専門性を意識して、専門的知識・技能を養う。
7. 3年次及び4年次に、必修科目「児童学総合研究」を置き、2年間継続的に学修・研究することで、専門性を深める。
8. 3年次及び4年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。
9. 「免許・資格プログラム」においては、小学校教諭1種免許状、幼稚園教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士、准学校心理士、児童厚生1級指導員、レクリエーション・インストラクター等の免許・資格の取得を目指す上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。
10. 「企業学習プログラム」においては、児童学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目を置き、専門的知識・技能を活用して児童関連企業等で活躍できる資質・能力を養う。

### [児童学科のアドミッションポリシー]

児童学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 教員や保育士など、児童に関わる専門家として活躍しようとする明確な目的をもち、児童を取り巻く問題を探求する能動性を有する人。
2. 児童に関する総合的な理論を学ぶために、自ら知識を獲得できる読解力と知識をふまえて自らの考えを表現できる文章能力を身につけている人。
3. 他者と円滑にコミュニケーションを図る能力や、体育・芸術等の分野において心身ともに豊かに表現する力を有している人。

## ■ 子ども心理学科の教育方針(3つのポリシー)

### [子ども心理学科のディプロマポリシー]

子ども心理学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位数を修得した学修者に、「学士(心理学)」の学位を授与する。

1. **知識・理解**
  - ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
  - ・子どもの心・行動・成長及び心理学に関する専門的知識を体系的に理解している。
2. **汎用的技能**
  - ① **コミュニケーション・スキル**
    - ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

- ②数量的スキル
  - ・心理学的研究法により数値やデータを分析・理解し、活用することができる。
- ③情報リテラシー
  - ・情報通信技術 (ICT) を用いて、子どもの心・行動・成長に関する情報を収集・分析し、活用することができる。
- ④外国語運用能力
  - ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。
- ⑤論理的思考力
  - ・心理学的な視点から、ものごとを論理的、分析的に思考し、表現することができる。
- ⑥課題・解決力
  - ・現代社会における子どもの心に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

### 3. 態度・志向性

- ①自己管理能力
  - ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。
- ②チームワークとリーダーシップ
  - ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。
- ③道理の感覚
  - ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、子どもの心の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。
- ④社会的責任
  - ・子どもの心・行動・成長及び心理学の専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。
- ⑤審美的なものに自己を差し向けること
  - ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。
- ⑥生涯学習力
  - ・子どもの心の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。
- ⑦健康推進
  - ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

### 4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・心理学に関する基礎的理論と研究方法を応用して研究を推進できる力とともに、心理学的援助を実践できる力を身につけている。
- ・乳幼児期から青年期までの子どもの発達を支援できる知識と援助技法を身につけている。
- ・教育・健康福祉・医療関連分野及び関連企業等において子どもの心の専門家として活躍できる資質・能力を身につけている。

## [子ども心理学科のカリキュラムポリシー]

子ども心理学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。
2. 「専門教育科目」においては、基礎的及び応用的分野にわたる心理学の専門的諸科学に関する科目を系統的に配置し、子どもの心理、行動、存在、その背景としての子どもが生きる生活世界及び文化環境の科学的理解を深める。
3. 文献研究、実験研究、調査研究などの研究方法を学修することにより、子どもの成長を支援し得る実践力を養う。
4. 初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」を置き、大学での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。
5. 1年次に、必修科目「児童学」、「教育・学校心理学」、「発達心理学①」、「心理学概論」、「心理学研究法」を置き、子ども心理学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。
6. 2年次に、必修科目「心理学実験」、「心理検査法実習」、「心理学統計法①」、「臨床心理学概論」を置き、文献研究、実験研究、調査研究などの専門的知識・技能を養う。
7. 3年次及び4年次に、必修科目「子ども心理学総合研究」を置き、2年間継続的に学修・研究することで、専門性を深める。
8. 3年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。
9. 「免許・資格プログラム」においては、公認心理師、認定心理士、准学校心理士、認定ムーブメント教育・療法中級指導者等の免許・資格の取得を目指す上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。
10. 「企業学習プログラム」においては、子ども心理学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目を置き、専門的知識・技能を活用して子ども関連企業等で活躍できる資質・能力を養う。

## [子ども心理学科のアドミッションポリシー]

子ども心理学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 文献を的確に読解・要約し、自分の考えを正確に記述・口述できるだけの基礎的国語力を身につけている人。
2. クラブ活動やボランティア経験等、人と関わる経験を豊富にもち、カウンセリング能力の基礎をなすコミュニケーション能力を備えている人。
3. こうした基礎的人間力をもとに、子ども心理学を積極的に学ぼうとする意欲的な心構えを備えている人。

## 教育学部(教育学科)の教育方針(3つのポリシー)

### 教育学部のディプロマポリシー

教育学部は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 「科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、生涯学習過程を生きる人間の存在・成長・目的等に関して多角的に理解し、教育に関する理論及びその応用・実践について修得することを通じて、自他に対する教育力を培うことができること。
2. 所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。

### 教育学部のカリキュラムポリシー

教育学部は、ディプロマポリシーを達成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」及び「専門教育科目」を統合的に学修することにより、学修者が幅広い知識と豊かな人間性を基礎とし、専門的知識・技能を修得することができるカリキュラムの編成。
2. 「リベラルアーツスタディーズ」と「プロフェッショナルスタディーズ」の縦軸と、「免許・資格プログラム」と「企業学習プログラム」の横軸とを立体的かつ複合的に組み合わせ、学修者が自らのコアコンピタンスを形成しながら、将来の生活設計に対して開かれた可能性を確保できるカリキュラムの編成。
3. 生涯学習過程を生きる人間の存在・成長・目的等に関する多角的理解に基づき、広い教養に裏づけられた教育学的識見と高い専門性を備えた教授スキルを養うカリキュラムの編成。

### 教育学部のアドミッションポリシー

教育学部は、本学部のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある以下のような学生を求める。

1. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
2. 教職に対する強い関心を抱き、グローバル化されていく時代を自覚しつつ、幅広い領域にわたる学問分野にあって、自ら進んで学びとろうとする人。
3. 人間性豊かな性情を子どもたちに分かち与え得る可能性を備え、教育界及び広く社会の教育活動に貢献しようとする意欲のある人。

## ■教育学科の教育方針(3つのポリシー)

### [教育学科のディプロマポリシー]

教育学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位数を修得した学修者に、「学士(教育学)」の学位を授与する。

#### 1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・教育学の専門的知識を体系的に理解している。

#### 2. 汎用的技能

- ①コミュニケーション・スキル
  - ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
- ②数量的スキル
  - ・教育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。
- ③情報リテラシー
  - ・情報通信技術 (ICT) を用いて、教育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。
- ④外国語運用能力
  - ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。
- ⑤論理的思考力
  - ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。
- ⑥課題・解決力
  - ・現代社会における教育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

### 3.態度・志向性

- ①自己管理力
  - ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。
- ②チームワークとリーダーシップ
  - ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。
- ③道理の感覚
  - ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。
- ④社会的責任
  - ・教育学の専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。
- ⑤審美的なものに自己を差し向けること
  - ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。
- ⑥生涯学習力
  - ・教育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。
- ⑦健康推進
  - ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

### 4.統合的な学修経験と創造的思考力

- ・教育や人間形成についてさまざまな角度から学び、子どもの気持ちを理解できる豊かな人間性と指導力を身につけている。
- ・深い教育学的人間理解と高い専門性を備えた教授スキルを身につけている。
- ・小学校・中学校(国語・社会)・高等学校(国語・地理歴史・公民)の教員、学芸員として、または教育学的知見をもった企業人として活躍できる資質・能力を身につけている。

## [教育学科のキャリアポリシー]

教育学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

- 1.「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。
- 2.「専門教育科目」においては、教育に関する理論及びその応用・実践についての科目を学修段階に応じて系統的に配置し、深い教育学的人間理解及び高い専門性を備えた教授スキルを身につける。
- 3.理論と実践、講義と演習・実習等、多岐にわたる授業方法を組み合わせることにより、学校現場の課題とニーズを踏まえた実践的な指導力を養う。
- 4.初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」、「基礎演習」を置き、大学での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。
- 5.1年次に、必修科目「教育学」、「教育原理」、「教育心理学①」を置き、教育学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。
- 6.2年次以降に、教育に関する理論や方法論、支援方法等の科目を置き、専門的知識・技能を養う。
- 7.3年次及び4年次に、必修科目「教育学総合研究」を置き、2年間継続的に学修・研究することで、専門性を深める。
- 8.4年次に、学外での実習等の体験的な活動を行うことにより、さらなる専門的知識・技能の統合を図り、実践力を養う。
- 9.「免許・資格プログラム」においては、小学校教諭1種免許状、中学校教諭1種免許状(国語・社会)、高等学校教諭1種免許状(国語・地理歴史・公民)、学芸員、司書教諭、准学校心理士等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。
- 10.「企業学習プログラム」においては、教育学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目を置き、専門的知識・技能を活用して教育関連企業等で活躍できる資質・能力を養う。

## [教育学科のアドミッションポリシー]

教育学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

- 1.学校教育に興味・関心をもち、子どもが好きで、子どもの成長を積極的に支援しようとする情熱と気概をもった人。
- 2.そのための知識・技能にわたる高度な専門性を修得しようとする責任意識をもった人。
- 3.小学校、中学校(国語・社会)、高等学校(国語・地理歴史・公民)の教員、または学芸員を目指すなど、将来の進路目標を明確にもった人。

# 鎌倉女子大学短期大学部の教育方針(3つのポリシー)

## 短期大学部のディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

鎌倉女子大学短期大学部は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下のように学位授与の要件を定める。

1. 本学固有の教育理念であると同時に、古今にわたる普遍の教育理念である「感謝と奉仕に生きる」を常に目途としながら、本学固有の教育目標である「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」を図り、自らの職能・職域を通じて健全な生活世界の活動及び形成に参与し、自らの未来を力強く切り拓くため、所定の期間在学し、所定の単位を修得していること。
2. 建学の精神を含む「総合教育科目」及び学科の設置目的に照らして編成された「専門教育科目」とともに修得していること。

## 短期大学部のカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

鎌倉女子大学短期大学部は、ディプロマポリシーを達成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. カリキュラムの枠組みは、「建学の精神」、「精神と文化」、「社会と産業」、「生命と自然」、「生活と技術」、「健康とスポーツ」、「情報科学」、「外国語」の8分野からなる「総合教育科目」と学科固有の「専門教育科目」によって構成される。
2. 学修課程の体系性及び順序性と学修者の志向性及び選択性を尊重し、各科目を以下のような重層的・複合的構造の中に配置する。

- ①基礎的学力、教養的知性、倫理性、身体性を培う「リベラルアーツスタディーズ」と学科の専門力を養う「プロフェッショナルスタディーズ」の組み合わせを縦軸としたカリキュラム構造。
- ②将来の職能・職域の選択肢を多様に確保するため、各種免許・資格の取得に向けての「免許・資格プログラム」と免許・資格に限定されない一般社会で広く活躍できる資質・能力を養う「企業学習プログラム」の組み合わせを横軸としたカリキュラム構造。

3. 短期大学部での学修を可能にするアカデミックな基礎的知識・技能を養う初年次教育から、各種講義、演習、実習、実験、実技、総合研究に至る、多様な教授内容と教授方法に基づく授業を設置する。
4. 学修者が履修過程を振り返りながら、着実な学修課程を歩むことができるよう、GPA制度に基づく成績評価を行う。
5. 各授業科目について、当該の授業内容のみならず、学修者の汎用的能力の育成及び主体的な学びを促進するために貢献できるシラバスを作成する。
6. 学修者が着実な学修課程を歩むことができるよう、クラスアドバイザー等による学習活動全般にわたる助言指導を定期的に行う。

## 短期大学部のアドミッションポリシー(入学者受入れの方針)

鎌倉女子大学短期大学部は、ディプロマポリシーに謳われた学修の到達目標を実現できる潜在力をもった学生に門戸を開くため、以下の入学選抜の方針を定める。

また、多様な能力及び個性をもった学生を受け入れ、短期大学教育を活性化させ、多様な社会の活動に貢献するために、それにふさわしい人材を得るための多様な入試方法を定める。

1. 高等学校までの学習課程を通じて身につけなければならない基礎的学力及び倫理性を備えている人。
2. 建学の精神と教育の伝統を尊重し、学修課程を通じてこれを身につける努力を惜しまない人。
3. 教職員の指導のもと、本学が行う教育活動に積極的に参加し、これにふさわしい学士力を身につける努力を惜しまない人。
4. 上記の学生に門戸を開くため、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人特別選抜の各種入試方法を設定する。

## ■ 初等教育学科の教育方針(3つのポリシー)

### [初等教育学科のディプロマポリシー]

初等教育学科は、建学の精神及び教育目的に基づき、以下に示す深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するとともに、所定の期間在学し、所定の単位数を修得した学修者に、「短期大学士(教育学)」の学位を授与する。

#### 1. 知識・理解

- ・人間・社会・文化・歴史・自然・健康・生活について、幅広い知識と豊かな教養を身につけている。
- ・教育・保育に関する専門的知識を体系的に理解している。

#### 2. 汎用的技能

##### ① コミュニケーション・スキル

- ・他者の意見や考えを理解するとともに、自分自身の意見や考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

##### ② 数量的スキル

- ・教育・保育に関する数値やデータを分析・理解し、活用することができる。

##### ③ 情報リテラシー

- ・情報通信技術(ICT)を用いて、教育・保育に関する情報を収集・分析し、活用することができる。

##### ④ 外国語運用能力

- ・特定の外国語を用いて読み、書き、聞き、話すことができる。

##### ⑤ 論理的思考力

- ・多角的な視点から、ものごとを論理的に思考し、表現することができる。

##### ⑥ 課題・解決力

- ・現代社会における教育・保育に関する課題を発見し、解決を図ることができる。

#### 3. 態度・志向性

##### ① 自己管理能力

- ・自らを律し、主体的、計画的に行動できるとともに、自立した女性としてライフキャリアを描くことができる。

##### ② チームワークとリーダーシップ

- ・組織の中で、他者と協調・協働して物事に取り組むことができるとともに、目標実現のための方向に導くことができる。

##### ③ 道徳の感覚

- ・社会のマナーやモラルに対する感覚を磨き、教育・保育の専門家として求められる高い倫理観を備え、自らを律して行動することができる。

##### ④ 社会的責任

- ・教育・保育の総合的な専門的知識・技能等を活用して、地域や社会に貢献することができる。

##### ⑤ 審美的なものに自己を差し向けること

- ・美しいもの善いものに目を向け、その価値に憧れを抱く素直な態度を身につけている。

##### ⑥ 生涯学習力

- ・教育・保育の専門家として生涯を通じて学び続けられる自学自習の習慣を身につけている。

##### ⑦ 健康推進

- ・健康を意識した生活を心がけるとともに、子どもの心と身体の発達や健康維持に貢献することができる。

#### 4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- ・乳幼児期及び児童期について深い関心を持ち、よりよい教育・保育を探究しようとする態度を身につけている。
- ・教育・保育について総合的な視点に立って、教育・保育活動を実践できる能力を身につけている。
- ・保育士、幼稚園・小学校の教員等として活躍できる資質・能力を身につけている。

### [初等教育学科のカリキュラムポリシー]

初等教育学科は、ディプロマポリシーに定める深い教養と高い専門性に富む学士力を形成するために、以下のように教育課程を編成し、実施する。

1. 「総合教育科目」においては、8分野で構成され、各分野に選択必修科目を設け、幅広い知識と豊かな教養を養う。

2. 「専門教育科目」においては、初等教育、保育・児童福祉の本質及び目的の理解を深める科目とともに、実践力を育成する実技科目を設け、子どもの理解と指導の専門性を高める。

3. 実習を核とした各授業科目の学修内容を有機的に関連させることにより、実践力を養う。

4. 初年次教育として、必修科目「スタートアップセミナー」を置き、短期大学部での学修を円滑に進めるため、アカデミックスキルを育成する。

5. 1年次に、必修科目「国語」、「算数」、「音楽①」、「図画工作」、「体育」、「教育原理」、「発達心理学」を置き、初等教育学科での学修に必要な基礎的知識・技能を養う。

6. 2年次に、教育・保育に関する演習科目、実習科目及び必修科目「初等教育学総合研究」を置き、専門的知識・技能及び実践力を養う。

7. 「免許・資格プログラム」においては、小学校教諭2種免許状、幼稚園教諭2種免許状、保育士、准学校心理士、児童厚生2級指導員、レクリエーション・インストラクター、秘書士等の免許・資格を取得する上で必要な科目を含む幅広い関連科目を置き、専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる資質・能力を養う。

8. 「企業学習プログラム」においては、初等教育学と企業学習の接点を見出すことができる汎用的な科目及び秘書士に関する科目を置き、専門的知識・技能を活用して企業等で活躍できる資質・能力を養う。

### [初等教育学科のアドミッションポリシー]

初等教育学科は、本学科のディプロマポリシーを理解し、修学意欲のある下記のような学生を求める。

1. 明確な目標を持ち、その実現に向かってひたむきな努力を惜みず、最後までやり遂げる人。

2. 人とかわかることが好きで、将来、保育士、幼稚園・小学校の教員等、社会に貢献することを目指している人。

3. 教育・保育に必要な文章力、表現力、身体的能力、コミュニケーション能力を身につけている人。

## 鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部 入学資格

### 「大学入学資格について」

文部科学省ホームページより引用

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者(法第90条第1項)

2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者(法第90条第1項)

3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設(文部科学大臣指定研修施設一覧)の課程を修了する必要がある。)(施行規則第150条第1号、昭和56年文部省告示第153号第2号))

※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設(文部科学大臣指定研修施設一覧)の課程を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第1号、第2号))

※合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧)を修了した者(昭和56年文部省告示第153号第3号)

6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校(我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧)を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第4号、第5号)

7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を修了した者(施行規則第150条第2号)

8. 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧)を修了した者(施行規則第150条第3号)

9. 旧制学校等を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第1号～第19の2号)

10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者(昭和23年文部省告示第47号第20号～第23号)

11. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設(国際的な評価団体認定外国人学校について)の12年の課程を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第24号)※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。

12. 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者(施行規則第150条第5号)(なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。)

13. 大学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者(施行規則第150条第7号)

※13については、事前に本学における個別入学資格審査を受ける必要があります。個別入学資格審査を希望する者は、出願期間開始日の14日前までに必要な手続きをとってください。

出願資格については、各入試の詳細ページを確認してください。



# [募集人員]

## ■ 大学

学部・学科		入学定員	総合型選抜 学部・専願制/ 高大接続	学校推薦型 選抜 <sup>※1</sup>	一般選抜					社会人 特別選抜	
					学部/ 特待生 チャレンジ <sup>※2</sup>	学部 前期	学部 後期	共通テスト 利用 前期	共通テスト 利用 後期		
大 学	家政学部	家政保健学科	80名	8名	37名	17名	8名	3名	7名	若干名	若干名
		管理栄養学科	120名	—	60名	28名	10名	5名	17名	若干名	若干名
	児童学部	児童学科	170名	17名	78名	37名	18名	5名	15名	若干名	若干名
		子ども心理学科	50名	5名	22名	12名	4名	2名	5名	若干名	若干名
	教育学部	教育学科	80名	8名	24名	20名	8名	5名	15名	若干名	若干名

※1 学校推薦型選抜は、学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜(併設校)の合計の人数です。

※2 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)における「特待生」としての合格枠は大学全体で50名です。

※ 家政学部管理栄養学科は、総合型選抜(学部・専願制／高大接続)を実施しません。

※ 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)を出願する際は学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)を入学検定料免除で学内併願し受験することができます。

※ 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)を出願する際は一般選抜(短大／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で学内併願することができます。

※ 一般選抜(学部)前期を出願する際は一般選抜(短大／国語1教科)前期を入学検定料免除で学内併願することができます。

※ 一般選抜(学部)後期を出願する際は一般選抜(短大／国語1教科)後期を入学検定料免除で学内併願することができます。

## ■ 短期大学部

学部・学科		入学定員	総合型選抜		学校推薦型 選抜 <sup>※3</sup>	一般選抜					社会人 特別選抜
			短大・ 併願制/ 保育者適性 I期	短大・ 併願制/ 保育者適性 II期		短大/ 特待生 チャレンジ <sup>※4</sup>	短大/ 国語1教科 前期	短大/ 国語1教科 後期	共通テスト 利用 前期	共通テスト 利用 後期	
短期大学部	初等教育学科	200名	60名	10名	100名	17名	6名	2名	5名	若干名	若干名

※3 学校推薦型選抜は、学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜(併設校)の合計の人数です。

※4 一般選抜(短大／特待生チャレンジ)における「特待生」としての合格枠は短大で5名です。

※ 学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)を出願する際は学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)を入学検定料免除で学内併願し受験することができます。

※ 一般選抜(短大／特待生チャレンジ)を出願する際は一般選抜(学部／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で学内併願することができます。

※ 一般選抜(短大／国語1教科)前期を出願する際は一般選抜(学部)前期を入学検定料免除で学内併願することができます。

※ 一般選抜(短大／国語1教科)後期を出願する際は一般選抜(学部)後期を入学検定料免除で学内併願することができます。

# [2022年度 入学試験日程]

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日	入学手続締切日	
総合型選抜	短大・併願制/ 保育者適性 I期	出願期間 2021年9月1日(水)～9月16日(木)	1次審査結果通知 2021年10月1日(金)	2021年9月26日(日) <sup>※1</sup>	2021年 11月1日(月)	2021年11月15日(月)	
	学部・専願制/ 高大接続	エントリー期間 2021年9月1日(水)～9月9日(木)	出願許可通知 2021年9月16日(木)	【集団討論・ プレゼンテーション】 <sup>※2</sup> 2021年10月9日(土) 【小論文・面接】 <sup>※2</sup> 2021年10月10日(日)	2021年 11月1日(月)	2021年11月15日(月)	
	短大・併願制/ 保育者適性 II期	調査書提出期間 2021年10月1日(金)～10月15日(金)	出願期間 2021年9月17日(金)～9月30日(木)	2021年11月22日(月)～12月7日(火)	2021年12月12日(日)	2021年 12月16日(木)	2021年12月23日(木)
学校推薦型選抜	短大・併願制/ 一般			2021年11月1日(月)～11月11日(木)	2021年11月20日(土)	2021年 12月1日(水)	2021年12月10日(金)
	短大／指定校			2021年11月1日(月)～11月11日(木)	2021年11月20日(土)	2021年 12月1日(水)	2021年12月10日(金)
	学部・専願制/ 一般			2021年11月1日(月)～11月11日(木)	2021年11月21日(日)	2021年 12月1日(水)	2021年12月10日(金)
	学部／指定校			2021年11月1日(月)～11月11日(木)	2021年11月21日(日)	2021年 12月1日(水)	2021年12月10日(金)
一般選抜	学部/ 特待生チャレンジ	2022年1月4日(火)～1月17日(月)		2022年1月22日(土)	2022年 1月27日(木)	一括 2022年2月8日(火) 二段階 1次:2022年2月8日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>※3</sup>	
	短大/ 特待生チャレンジ	2022年1月4日(火)～1月17日(月)		2022年1月22日(土)	2022年 1月27日(木)	一括 2022年2月8日(火) 二段階 1次:2022年2月8日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>※3</sup>	
	学部 前期	2022年1月4日(火)～1月28日(金)		2022年2月6日(日)	2022年 2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>※3</sup>	
	短大／国語1教科 前期	2022年1月4日(火)～1月28日(金)		2022年2月6日(日)	2022年 2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>※3</sup>	
	学部 後期	2022年2月14日(月)～2月28日(月)		2022年3月5日(土)	2022年 3月11日(金)	2022年3月18日(金)	
	短大／国語1教科 後期	2022年2月14日(月)～2月28日(月)		2022年3月5日(土)	2022年 3月11日(金)	2022年3月18日(金)	
	共通テスト利用 前期	2022年1月4日(火)～2月4日(金)		個別試験 実施せず	2022年 2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>※3</sup>	
共通テスト利用 後期	2022年2月14日(月)～3月3日(木)		2022年 3月11日(金)		2022年3月18日(金)		
社会人特別選抜		2021年11月22日(月)～12月7日(火)		2021年12月12日(日)	2021年 12月16日(木)	2021年12月23日(木)	
編入学試験	I期	2021年11月22日(月)～12月7日(火)		2021年12月12日(日)	2021年 12月16日(木)	2021年12月23日(木)	
	II期 (教育学科のみ)	2022年1月26日(水)～2月2日(水)		2022年2月10日(木)	2022年 2月15日(火)	2022年2月22日(火)	
専攻科入試	I期	2021年11月22日(月)～12月7日(火)		2021年12月12日(日)	2021年 12月16日(木)	2021年12月23日(木)	
	II期	2022年1月26日(水)～2月2日(水)		2022年2月10日(木)	2022年 2月15日(火)	2022年2月22日(火)	

※全ての入試において、全日程インターネット出願のみの受付となります。インターネット出願サイトで出願登録後、入学検定料の納入を完了させ、出願書類を出願期間内に郵送(消印有効)することで出願受理となります。出願期間最終日の出願登録・入学検定料の納入は17:00までとなります。

※1 天災等予備日 10/3(日) ※2 天災等予備日 10/23(土)、10/24(日)

※3 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)・一般選抜(短大／特待生チャレンジ)・一般選抜(学部)前期・一般選抜(共通テスト利用)前期は、一括納入方式と二段階納入方式(1次締切日までに入学金、最終締切日までに残金を納入)の選択制。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入試日程を追加・変更することがあります。

## [入学検定料免除制度について]

▶ 1回の入学検定料で、次回以降の試験は入学検定料免除でチャレンジできます。

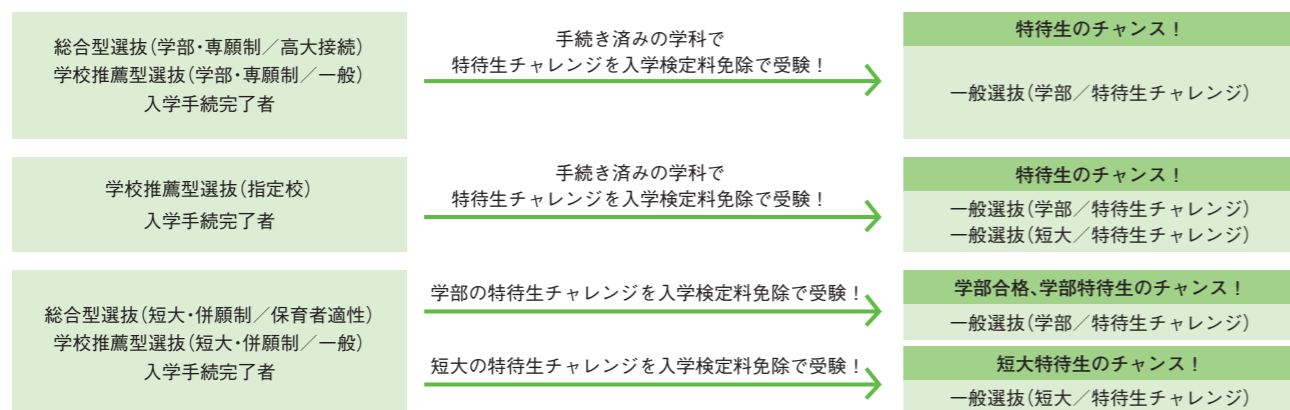
最初に受験する試験の入学検定料(30,000円)を納入するだけで、次回以降に出願した試験の入学検定料が免除となる制度です。志望学科を変更した場合でも免除の対象です。また、出願期間が重複している「一般選抜(学部／特待生チャレンジ)」と「一般選抜(学部)前期」を同時に出願する場合や「一般選抜(短大／特待生チャレンジ)」と「一般選抜(短大／国語1教科)前期」を同時に出願する場合でも、入学検定料免除が適用され、1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。ただし、「学校推薦型選抜(指定校)」、「一般選抜(共通テスト利用)前期・後期」「社会人特別選抜」には適用されません。

最初に受験した試験	入学検定料免除となる試験				
総合型選抜 (学部・専願制／高大接続) (短大・併願制／保育者適性)Ⅰ期	学校推薦型選抜 (学部・専願制／一般)、 (短大・併願制／一般)	総合型選抜 (短大・併願制／ 保育者適性)Ⅱ期	一般選抜 (学部／特待生チャレンジ)、 (短大／特待生チャレンジ)	一般選抜 (学部)前期、 (短大／国語1教科)前期	一般選抜 (学部)後期、 (短大／国語1教科)後期
学校推薦型選抜 (学部・専願制／一般)、 (短大・併願制／一般)	→	総合型選抜 (短大・併願制／ 保育者適性)Ⅱ期	一般選抜 (学部／特待生チャレンジ)、 (短大／特待生チャレンジ)	一般選抜 (学部)前期、 (短大／国語1教科)前期	一般選抜 (学部)後期、 (短大／国語1教科)後期
一般選抜 (学部／特待生チャレンジ)、 (短大／特待生チャレンジ)	→			一般選抜 (学部)前期、 (短大／国語1教科)前期	一般選抜 (学部)後期、 (短大／国語1教科)後期
一般選抜 (学部)前期、 (短大／国語1教科)前期	→				一般選抜 (学部)後期、 (短大／国語1教科)後期
<b>志望学科を変更した場合でも1回分の入学検定料(30,000円)で受験可能！</b>					

▶ 年内入試の入学手続き完了者も入学検定料免除で特待生を目指せます。短大の年内入試の入学手続き完了者は学科を変えて再チャレンジすることもできます。

学部の総合型選抜・学校推薦型選抜(一般)や学部・短大の学校推薦型選抜(指定校)では、入学手続き済みの学科で「一般選抜(特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。

「総合型選抜(短大・併願制／保育者適性)」「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」の入学手続き完了者も、短大の入学を担保に学部・短大両方の「一般選抜(特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。学部合格のチャンスはもちろん、学部・短大の特待生になるチャンスもあります。学部合格した場合、納入した短大の入学金は学部でスライドすることが可能です。



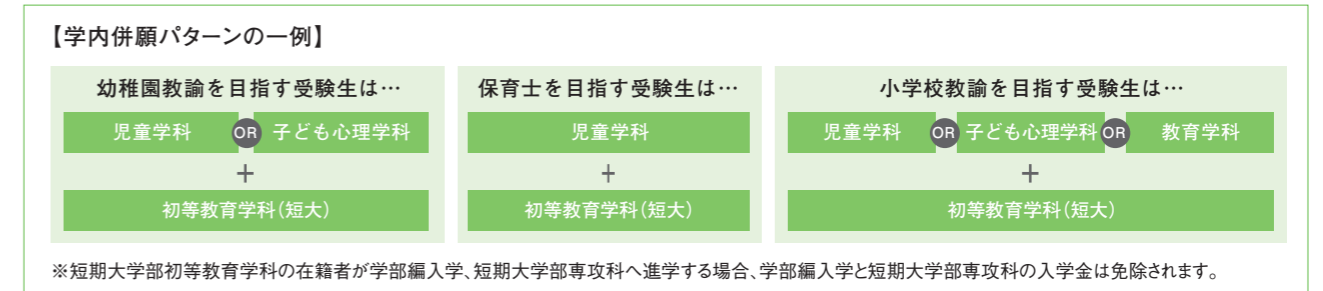
▶ 学校推薦型選抜(一般)・一般選抜で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」を学内併願する場合や「一般選抜(学部)」と「一般選抜(短大／国語1教科)」を学内併願する場合は1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。

※「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」を学内併願する場合は、「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」の両方を受験する必要があります(試験日が異なります)。

※「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」の両方が合格となった場合は、「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」で合格した学科で入学手続きしていただきます。

※一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部で受験された「国語」の成績を「一般選抜(短大／国語1教科)」の合否判定に使用します。



## [入学金のスライド制度について]

鎌倉女子大学または鎌倉女子大学短期大学部の併願制入試において入学手続きを完了し、本学の他入試において他の学科に入学手続きをする場合は納入済の入学手続き時納入金を振替えることが可能です。

例えば、「総合型選抜(短大・併願制／保育者適性)」や「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」で合格し、短期大学部に入学金を納入し入学手続きを完了させても、その後受験した「一般選抜(学部／特待生チャレンジ)」で児童学部児童学科に合格したなどの場合、納入した短期大学部の入学金を児童学部児童学科の入学金としてスライドすることができる制度です。この制度により、第2志望学科の入学を担保しながら第1志望学科へ安心して挑戦することができます。

## [入学検定料の返還について]

以下の事項に該当する場合は、入学検定料を返還しますので入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ2022年3月31日(木)までに申請手続きを行ってください。

- 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- 入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
- 出願が受理されなかった場合
- 学校保健安全法施行規則に規定された感染症および新型コロナウイルス感染症により受験ができなかった場合
- その他、本学が認めるやむを得ない事由の場合

## [特待生チャレンジについて]

一般選抜(特待生チャレンジ)には通常の合格のうえに、特待生としての合格のチャンスがあります。特待生としての選考に事前の申請は必要なく、「一般選抜(学部／特待生チャレンジ)」・「一般選抜(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験者が選考の対象になります。

特待生としての合格枠は、大学は入学定員の1割にあたる50名、短期大学部は5名です。成績優秀者(試験の成績及び「調査書(主体性等の観点評価)」で選考)に対して1年次640,000円を給費。2年次以降(最長4年)は320,000円が給費されます。

(ただし、2年次以降、前年の年間の成績が基準(GPA3.0)を下回った場合は支給されません。また、それ以降の年度においても支給されません。)

「総合型選抜」・「学校推薦型選抜」の入学手続完了者も「一般選抜(学部／特待生チャレンジ)」・「一般選抜(短大／特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。

## [入学前教育について]

本学では、総合型選抜(学部・専願制／高大接続)・総合型選抜(短大・併願制／保育者適性)・学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)・学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)で合格し入学手続を完了した方を対象に、入学後の学部・学科における専門教育への導入を目的として、「入学前教育」を実施しています。各学科より出された課題を入学手続完了後、「入学許可書」とともに送付します。課題は所定の期日までに提出してください。なお、提出された課題は各学科で添削し、返却します。

## [個人情報に関する取扱について]

個人情報は、入学者選抜以外に学内資料作成のため、個人を特定しない形で統計的な調査に使用することがあります。

## [新型コロナウイルス感染症への対応について]

「令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン」(文部科学省)に基づいた試験の実施をいたします。

受験生は下記の事項を確認の上、受験してください。

- ① 発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関で受診してください。  
また、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止め当該試験日以降に実施される試験を受験してください。その際の入学検定料は免除されます。入学検定料の返還については、「入学検定料の返還について」を確認してください。
- ② 新型コロナウイルス感染症を罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者(無症状でPCR検査等において陰性が確認された者を除く)は受験できません。当該試験日以降に実施される試験を受験する際は、入学検定料が免除されます。また、入学検定料の返還を求める場合は、所定の手続きを行ってください。
- ③ 試験当日は、換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。また、各自マスクを持参し、昼食時以外は常に着用し、他者との接触、会話を極力控えてください。

**専願制** 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)

**併願制** 学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)

[学部]

**学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)で求める人材**

学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学の「建学の精神」に賛同する人。
- (2) 本学を専願として向上心が強く、積極的に学修しようとする人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー(AP)に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

**出願資格[学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)]**

2022年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者で、

(1)～(4)のすべてに該当し、出身学校長が推薦する女子。

- (1) 本学の建学の精神に賛同する者。
- (2) 本学を専願とし、向上心が強く、積極的かつ意欲的に勉学・修養に精励する者。
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程における全体の学習成績の状況が次に示す値以上の者。
  - ▶ 家政学部家政保健学科、児童学部児童学科・子ども心理学科、教育学部教育学科にあつては、3.3以上。
  - ▶ 家政学部管理栄養学科にあつては、3.4以上。
- (4) 家政学部管理栄養学科にあつては、次の条件をすべて満たす者。  
「化学基礎」(「理数化学」も可)と「生物基礎」(「理数生物」も可)を履修した者。

[短大]

**学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)で求める人材**

学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学の「建学の精神」に賛同する人。
- (2) 向上心が強く、積極的に学修しようとする人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー(AP)に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

**出願資格[学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)]**

2022年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者で、

(1)～(3)のすべてに該当し、出身学校長が推薦する女子。

- (1) 本学の建学の精神に賛同する者。
- (2) 向上心が強く、積極的かつ意欲的に勉学・修養に精励する者。
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程における全体の学習成績の状況が3.0以上の者。

## 選抜方法[共通]

調査書(「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化)、小論文および面接により選抜を行います。

※面接は、「入学希望理由書」(出願時提出)の記載事項を中心に「アドミッションポリシーの適合性」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を観点に、質疑応答を行います。時間は10分程度です。

※小論文は学科ごとに指定する課題について、800字程度の小論文をまとめます。試験時間は60分です。

## 日程・試験会場

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
学校推薦型選抜 (短大・併願制／一般)	2021年 11月1日(月)～11月11日(木)	2021年 11月20日(土)	2021年 12月1日(水)	2021年 12月10日(金)	本学(大船キャンパス)
学校推薦型選抜 (学部・専願制／一般)	2021年 11月1日(月)～11月11日(木)	2021年 11月21日(日)	2021年 12月1日(水)	2021年 12月10日(金)	

※集合時間は、出願後送付される受験票の記載により指示されます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入試日程を追加・変更することがあります。

## 障害や疾病のある受験生への特別措置[共通]

障害や疾病により受験に際して特別な配慮を必要とする場合や就学する上において支援を必要とする場合は、出願書類提出前のできるだけ早い時期に、必ず入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に申し出てください。

## 出願書類[共通]

- 志願票** インターネットでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。  
(プリンター出力したもの) 詳細は37ページ「インターネット出願の利用について」を参照してください。
- 写真** タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)  
写真の裏面に氏名・志望学科を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは41ページを参照)
- 推薦書** 本学所定用紙(本学ホームページからもダウンロードできます)
- 入学希望理由書** 本学所定用紙(本学ホームページからもダウンロードできます)
- 調査書** 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)

※学部と短大を併願する場合、志願票は1枚に集約されます。推薦書および入学希望理由書は学部と短大それぞれ必要になります。  
また、その際調査書は1通で構いません。

## 入学検定料[共通]

30,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については39ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

▶学校推薦型選抜(一般)で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」を学内併願する場合は1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。

※「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」を学内併願する場合は、「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」の両方を受験する必要があります(試験日が異なります)。

※「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)」の両方が合格となった場合は、「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」で合格した学科で入学手続きしていただきます。

**【学内併願パターンの一例】**

<p>幼稚園教諭を目指す受験生は…</p> <p>児童学科 OR 子ども心理学科</p> <p>+</p> <p>初等教育学科(短大)</p>	<p>保育士を目指す受験生は…</p> <p>児童学科</p> <p>+</p> <p>初等教育学科(短大)</p>	<p>小学校教諭を目指す受験生は…</p> <p>児童学科 OR 子ども心理学科 OR 教育学科</p> <p>+</p> <p>初等教育学科(短大)</p>
---	--	---

※短期大学部初等教育学科の在籍者が学部編入学、短期大学部専攻科へ進学する場合、学部編入学と短期大学部専攻科の入学金は免除されます。

▶学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)の第2志望について

- ①第1志望の学科で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。
- ②第2志望の学科で合格となった場合は、入学手続を行わなくても差し支えありません。

第1志望 学部・学科		大 学				
		家政学部		児童学部		教育学部
第2志望 学部・学科		家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科
大学	家政学部	家政保健学科	○	○	○	○
		管理栄養学科	×	×	×	×
	児童学部	児童学科	○	○	○	○
		子ども心理学科	○	○	○	○
教育学部	教育学科	○	○	○	○	

## ■ 受験上の注意[共通]

- ① 集合時間は、出願後送付される受験票の記載により指示されますので確認をしてください。  
(指示された時間の変更はできません)
- ② 試験室への入室は、集合時間の30分前からです。
- ③ 試験当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
- ④ 試験会場内では受験票を必ず携帯し、小論文の時間中は机の上に置いてください。  
紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ⑤ 試験室入室後は、スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。  
机には受験票と筆記用具しか置けませんので、置き型の時計は使用できません。  
また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ⑥ 小論文の時間中は受験票と筆記用具以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。  
小論文試験は60分です。  
試験途中の退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、**退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。**
- ⑦ 付添者の控室は設置いたしません。
- ⑧ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)、新型コロナウイルス感染症を罹患し治癒していない方および試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方(無症状でPCR検査等において陰性が確認された者を除く)は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来校は、駐車場がありませんのでご遠慮ください。

## ■ 合格発表[共通]

- ① 合格発表は郵送をもって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書および入学手続書類を発送します。(簡易書留・速達)
- ② 合否については合格発表当日、インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)を利用した合否案内システムでも発表します。詳しくは43ページ「合格発表について」を参照してください。正式の合格通知は、文書をもって行います。  
学部の第2志望を申請し、「不合格」となった場合、第1志望・第2志望とも不合格であることを示します。
- ③ 学内掲示・レタックス等での発表は行いません。
- ④ 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

## ■ 入学手続[共通]

- ① 入学手続書類は、入学手続締切日(消印有効)までに郵送してください。
- ② 入学手続時納入金(詳しくは44ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③ 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。また、入学手続時納入金の分納もできません。
- ④ 前①、②の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内に「入学許可書」を送付します。
- ⑤ 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)は専願制の入試につき、入学手続後の辞退および入学手続時納入金の返還には応じられません。  
この件についてのお問い合わせは、入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)までお願いします。

## ■ 入学辞退に伴う学費の返還について[学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)]

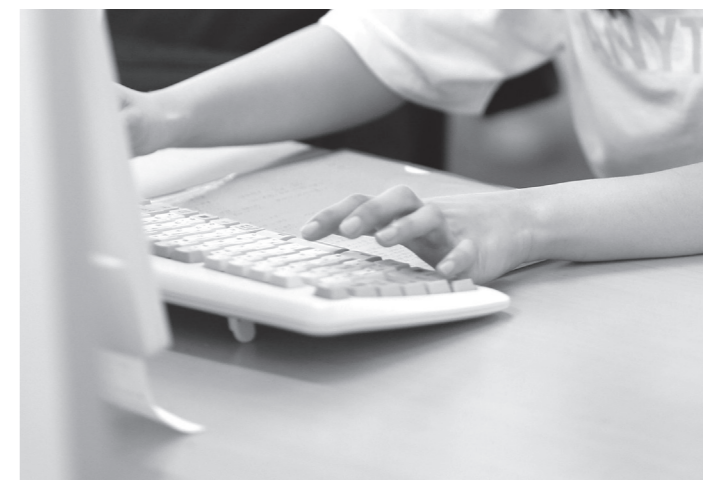
学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)で入学手続を完了した者が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、**入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに**入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ① 受付期限  
**2022年3月31日(木) 17:00まで**
- ② 返還手続書類  
1) 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)  
2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し  
3) 本学の入学手続時納入金の振込領収書の写し
- ③ 返還方法  
入学辞退届受領後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

## ■ 入学金スライド制度[学校推薦型選抜(短大・併願制／一般)]

既に本学の学科に併願制入試で合格し、入学手続を完了している者が、その後他学科に合格し入学手続をする場合、入学手続期間内に入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ、所定の手続を行うことにより、納入した入学金をスライドすることができます。入学を担保しながら他学科へ挑戦することができます。



## 併願制 一般選抜

- ・一般選抜(学部／特待生チャレンジ)
- ・一般選抜(学部)前期
- ・一般選抜(学部)後期
- ・一般選抜(短大／特待生チャレンジ)
- ・一般選抜(短大／国語1教科)前期
- ・一般選抜(短大／国語1教科)後期

### 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)で求める人材

一般選抜(学部／特待生チャレンジ)では下記の(1)～(4)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 各学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。
- (4) 特待生として他の学生をリードしようとする意欲のある人。

### 一般選抜(短大／特待生チャレンジ)で求める人材

一般選抜(短大／特待生チャレンジ)では下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 初等教育学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 特待生として他の学生をリードしようとする意欲のある人。

### 一般選抜(学部)前期・後期で求める人材

一般選抜(学部)前期・後期では下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 各学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。

### 一般選抜(短大／国語1教科)前期・後期で求める人材

一般選抜(短大／国語1教科)前期・後期では下記の(1) (2)に該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 初等教育学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。

### 出願資格

文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2022年3月31日までに有する見込みの女子。  
(P14.参照)

※ 障害や疾病により受験に際して特別な配慮を必要とする場合や、就学する上において支援を必要とする場合は、12月10日(金)までに「一般選抜受験特別措置申請書」により申請してください。(詳しくは27ページを参照)

### 選抜方法

調査書および学力試験により選抜を行います。

### 日程

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場(31ページ参照)
学部／ 特待生チャレンジ	2022年 1月4日(火)～1月17日(月)	2022年 1月22日(土)	2022年 1月27日(木)	一括 2022年2月8日(火) 二段階 1次:2022年2月8日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>*1</sup>	・本学(大船キャンパス) ・東京会場(東京国際フォーラム) (収容人数100名) ・静岡会場(静岡学園早慶セミナー) (収容人数80名) ・郡山会場(尚志教育センター) (収容人数40名)
短大／ 特待生チャレンジ	2022年 1月4日(火)～1月17日(月)	2022年 1月22日(土)	2022年 1月27日(木)	一括 2022年2月8日(火) 二段階 1次:2022年2月8日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>*1</sup>	・新潟会場(コープシティ花園[GARESSO]) (収容人数35名) ・長野会場(長野予備学校 本館) (収容人数50名)
学部 前期	2022年 1月4日(火)～1月28日(金)	2022年 2月6日(日)	2022年 2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>*1</sup>	本学(大船キャンパス)
短大／国語1教科 前期	2022年 1月4日(火)～1月28日(金)	2022年 2月6日(日)	2022年 2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火) <sup>*1</sup>	本学(大船キャンパス)
学部 後期	2022年 2月14日(月)～2月28日(月)	2022年 3月5日(土)	2022年 3月11日(金)	2022年3月18日(金)	本学(大船キャンパス)
短大／国語1教科 後期	2022年 2月14日(月)～2月28日(月)	2022年 3月5日(土)	2022年 3月11日(金)	2022年3月18日(金)	本学(大船キャンパス)

※1 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)・一般選抜(短大／特待生チャレンジ)・一般選抜(学部)前期・一般選抜(短大／国語1教科)前期の入学手続納入金の納入方式は、一括納入方式と二段階納入方式(1次締切日までに入学金、最終締切日までに残金を納入)の選択制。

※2 一般選抜(学部／特待生チャレンジ)・一般選抜(短大／特待生チャレンジ)の試験会場については出願時に選択できますが、地区入試会場の場合、志願者数が収容人数の上限に達したときには、本学(大船キャンパス)での受験になります。

※集合時間は、出願後送付される受験票の記載により指示されます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入試日程を追加・変更することがあります。

## 障害や疾病のある受験生への特別措置

一般選抜において、受験特別措置申請を行う時は、事前に下記の事項を了承の上、「一般選抜受験特別措置申請書(本学所定用紙)」により申請してください。申請された上は、下記の事項に同意されたものと見なして、検討・回答いたします。申請をお考えの方は、事前に入試・広報センターまでご連絡ください。(申請書は本学ホームページからダウンロードできます。)

### 一般選抜受験特別措置申請者

受験特別措置申請は、必ず本人が行ってください。やむを得ず本人が申請できない場合でも、必ず本人の同意を得てください。

### 一般選抜受験特別措置申請締切日

2021年12月10日(金) [必着]

※対象は一般選抜(学部／特待生チャレンジ)、一般選抜(短大／特待生チャレンジ)、一般選抜(学部)前期・後期、一般選抜(短大／国語1教科)前期・後期の一般選抜全日程  
※締切日までに申請がなかった場合、特別措置の対応ができない場合があります。  
ただし、緊急な事由でやむを得ず申請が必要になった際は、[入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)]にご相談ください。

### 一般選抜受験特別措置申請に対する対応範囲

受験特別措置申請した希望の措置内容のすべてに対応できるとは限りません。この場合、代替措置等も含めて検討の上、回答いたします。その回答内容を確認の上、出願されるかどうかの判断をしてください。

## 試験教科・科目および試験時間[特待生チャレンジ・前期・後期共通]

### [大学]

- 試験当日は、各教科の試験開始時間15分前までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。「受験にあたっての諸注意」を行います。
- 全科目受験しなかった場合は失格となります。

学部・学科	教科数	教科	試験科目	配点	試験時間		
					10:00~11:00	11:30~12:30	13:30~14:30
家政学部 家政保健学科	2教科	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	/
		外国語	コミュニケーション英語I・II、英語表現I	100			
	3教科受験 2教科判定 各教科を偏差値化して国語と外国語の高い教科の偏差値と理科の偏差値の合計で判定	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
		外国語	コミュニケーション英語I・II、英語表現I	100			
理科	「化学基礎・化学 <sup>*1</sup> 」「生物基礎・生物 <sup>*2</sup> 」 ※2科目の中から1科目選択	100			理科		
児童学部 児童学科	2教科	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	/
		外国語	コミュニケーション英語I・II、英語表現I	100			
	2教科 子ども心理学科	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
		外国語	コミュニケーション英語I・II、英語表現I	100			
教育学部 教育学科	2教科	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
		外国語	コミュニケーション英語I・II、英語表現I	100			

※1:「化学基礎・化学」の出題範囲は、「無機物質の性質と利用・有機化合物の性質と利用」 ※2:「生物基礎・生物」の出題範囲は、「生物の生殖と発生・生物の環境応答」

### [短期大学部]

- 試験当日は、試験開始時間15分前までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。「受験にあたっての諸注意」を行います。

学部・学科	教科数	教科	試験科目	配点	試験時間
					10:00~11:00
初等教育学科	1教科	国語	国語総合(古文・漢文を除く) ※20字~30字程度の記述問題を含む	100	国語

※一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部と短大を併願する場合、学部で受験された「国語」の成績を「一般選抜(短大／国語1教科)」の合否判定に使用します。

## 特待生の選考について

「一般選抜(学部／特待生チャレンジ)」「一般選考(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験者を対象として、試験の成績及び調査書の「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」を中心に「主体性等」を評価観点として加味した上で選考します。

特待生としての合格枠は、大学は入学定員の1割にあたる50名、短期大学部は5名です。成績優秀者(試験の成績及び「調査書(主体性等の観点評価)」で選考)に対して1年次640,000円を給費。2年次以降(最長4年)は320,000円が給費されます。

(ただし、2年次以降、前年の年間の成績が基準(GPA3.0)を下回った場合は支給されません。また、それ以降の年度においても支給されません。)

## 出願書類

- 志願票** インターネットでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。(プリンター出力したもの) 詳細は37ページ「インターネット出願の利用について」を参照してください。
   
**写真** タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
   
 写真の裏面に氏名・志望学科を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは41ページを参照)
- 調査書** 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

- ①高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」または「調査書」も提出。
- ②外国における12年の課程を修了した者は、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。

※特待生チャレンジ・前期を同時出願する場合や共通テスト利用も合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、調査書は1通提出してください。また、入学手続完了者が特待生チャレンジに出願する場合、調査書はあらたに1通提出してください。

## 入学検定料

30,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。各納入方法については39ページを参照してください。  
※特待生チャレンジ・前期を同時出願する場合は、「入学検定料免除制度」が適用されるため、**特待生チャレンジの入学検定料のみ**納入手続を行ってください。  
※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

### ▶一般選抜で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

「一般選抜(学部)」と「一般選抜(短大／国語1教科)」を学内併願する場合は1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。

※一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部と短大を併願する場合、学部で受験された「国語」の成績を「一般選抜(短大／国語1教科)」の合否判定に使用します。

【学内併願パターンの一例】		
<b>幼稚園教諭を目指す受験生は…</b> 児童学科 OR 子ども心理学科 + 初等教育学科(短大)	<b>保育士を目指す受験生は…</b> 児童学科 + 初等教育学科(短大)	<b>小学校教諭を目指す受験生は…</b> 児童学科 OR 子ども心理学科 OR 教育学科 + 初等教育学科(短大)
※短期大学部初等教育学科の在籍者が学部編入学、短期大学部専攻科へ進学する場合、学部編入学と短期大学部専攻科の入学金は免除されます。		

## 一般選抜(学部)の第2志望について

第1志望の学科で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。

第2志望 学部・学科	第1志望 学部・学科	大 学				
		家政学部		児童学部		教育学部
		家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科
大学	家政学部	家政保健学科	○	○	○	○
		管理栄養学科	×	×	×	×
	児童学部	児童学科	○	○	○	○
		子ども心理学科	○	○	○	○
	教育学部	教育学科	○	○	○	○

## ■ 受験上の注意

- ① 試験当日は、**各試験の試験開始時間15分前までに**試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始時刻後30分以内**に限り、受験を認めます。なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、試験時間を試験会場単位で繰り下げることがあります。
- ② 試験会場内では受験票を必ず携帯し、受験中は机上に置いてください。紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ③ 試験室入室後は、スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。机には受験票と筆記用具しか置けませんので、置き型の時計は使用できません。また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ④ 耳栓の使用はできません。
- ⑤ 計算機能・辞書機能付き腕時計や電卓等の持ち込みはできません。
- ⑥ 試験中は受験票と解答に必要な筆記用具以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。
- ⑦ 試験時間が午後にわたる方(管理栄養学科志願者)は、昼食を持参してください。試験終了まで試験会場外に出ることはできません。
- ⑧ 出願時に選択した科目の変更はできません。
- ⑨ 各試験科目の**試験時間は60分**です。途中退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、**退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。**
- ⑩ 付添者の控室は設置いたしません。
- ⑪ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)、新型コロナウイルス感染症を罹患し治療していない方および試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方(無症状でPCR検査等において陰性が確認された者を除く)は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来場は、駐車場がありませんのでご遠慮ください。

## ■ 合格発表

- ① 合格発表は郵送をもって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書および入学手続き書類を発送します。(簡易書留・速達)
- ② 合否については合格発表当日、インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)を利用した合否案内システムでも発表します。詳しくは43ページ「合格発表について」を参照してください。正式の合格通知は、文書をもって行います。
- ③ 学内掲示・レタックス等での発表は行いません。
- ④ 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

## ■ 繰り上げ合格について

入学手続状況により、不合格者のなかから繰り上げ合格を発表することがあります。繰り上げ合格となった場合には、出願時に登録(入力)された電話番号もしくは携帯番号への電話連絡により入学の意思確認を行った上で、合格通知書を郵送します。

## ■ 入学手続

- ① 入学手続き書類は、入学手続締切日(消印有効)までに郵送してください。
- ② 入学手続時納入金(詳しくは44ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③ 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- ④ 前①、②の手続を完了(完納)した方には、入学手続締切日以降14日以内に「入学許可書」を送付します。

## ■ 入学辞退に伴う学費の返還について

一般選抜で入学手続を完了した者が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、**入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに**入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ① 受付期限  
**2022年3月31日(木) 17:00まで**
- ② 返還手続書類  
1) 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙) 2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し  
3) 本学の入学手続時納入金の振込領収書の写し
- ③ 返還方法  
返還手続書類を受領した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

## ■ 入学金スライド制度

既に本学の学科に入学手続を完了している方が、その後他学科に合格し入学手続をする場合、入学手続期間内に入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ、所定の手続を行うことにより、納入した入学金をスライドすることができます。入学を担保しながら他学科へ挑戦することができます。



一般選抜(学部／特待生チャレンジ)、一般選抜(短大／特待生チャレンジ)  
の地区入試会場

試験日:2022年1月22日(土)

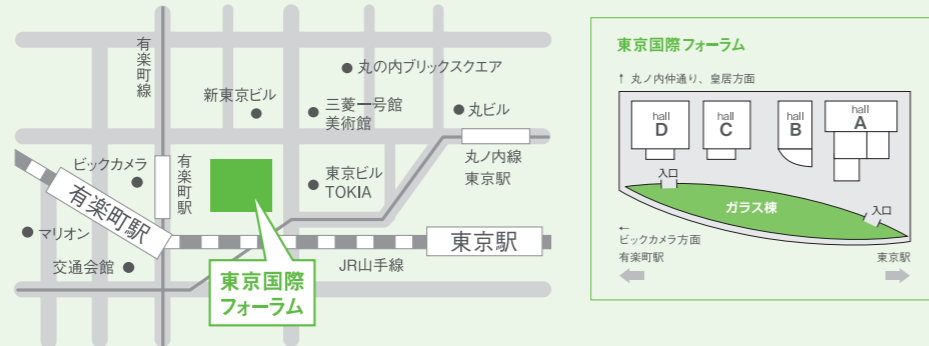
地区入試会場において志願者数が収容人数の上限に達したときには、本学(大船キャンパス)での受験になります。

※「一般選抜前期・後期」は、  
本学会場のみで行います。

東京会場:東京国際フォーラム ガラス棟4F

収容人数:100名

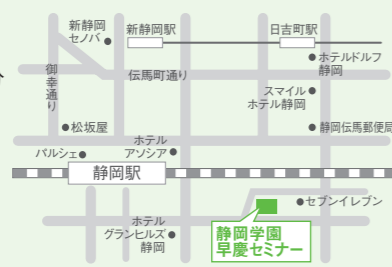
- 交通アクセス
- JR有楽町駅から徒歩1分
- 所在地  
千代田区丸の内3-5-1  
TEL:03-5221-9000



静岡会場:静岡学園早慶セミナー

収容人数:80名

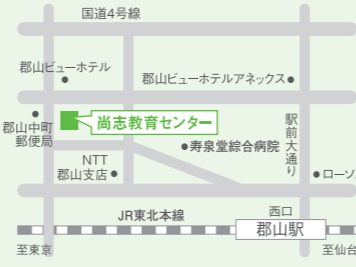
- 交通アクセス
- JR静岡駅から徒歩5分
- 所在地  
静岡市駿河区八幡  
1-1-1  
TEL:054-281-0191



郡山会場:尚志教育センター

収容人数:40名

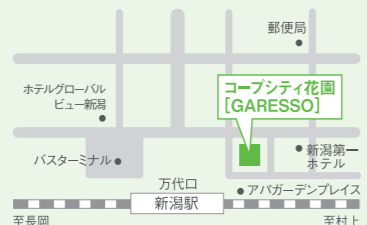
- 交通アクセス
- JR郡山駅西口から徒歩8分
- 所在地  
郡山市中町14-18  
TEL:024-931-5555



新潟会場:コープシティ花園 [GARESSO]

収容人数:35名

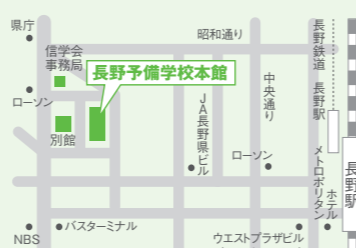
- 交通アクセス
- JR新潟駅万代口から連絡通路と直結
- 所在地  
新潟市中央区花園  
1-2-2  
TEL:025-248-7511



長野会場:長野予備学校 本館

収容人数:50名

- 交通アクセス
- JR長野駅善光寺口から徒歩15分
- 所在地  
長野市北石堂町1022  
TEL:026-226-1774



入学試験受験の際の宿泊ホテル

宿泊を希望する方は、本学受験生である旨を伝えて直接ホテルに申し込んでください。

ホテル名	最寄り駅・アクセス	所在地	電話
ホテルメッツかまくら大船	JR大船駅 徒歩3分	鎌倉市大船1-2-1	0467-40-1192
相鉄フレッサイン鎌倉大船駅笠間口	JR大船駅 徒歩1分	鎌倉市大船1-26-5	0467-42-2031
相鉄フレッサイン鎌倉大船駅東口	JR大船駅 徒歩2分	鎌倉市大船1-22-3	0467-66-7203
相鉄フレッサイン横浜戸塚	JR戸塚駅 徒歩2分	横浜市戸塚区戸塚町16-8	045-860-2031
スーパーホテル戸塚駅東口	JR戸塚駅 徒歩2分	横浜市戸塚区吉田町3002番地3	045-864-9000
相鉄フレッサイン藤沢駅南口	JR藤沢駅 徒歩1分	藤沢市南藤沢22-17	0466-99-0203
藤沢ホテル	JR藤沢駅 徒歩9分	藤沢市南藤沢12-9	0466-28-8000
ホテルウィングインターナショナル湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩2分	藤沢市藤沢109-5	0466-55-1112
湘南クリスタルホテル	JR藤沢駅 徒歩5分	藤沢市南藤沢14-1	0466-28-2111
ホテル法華クラブ湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩5分	藤沢市鶴沼石上1-6-1	0466-27-6101
東横イン湘南鎌倉藤沢駅北口	JR藤沢駅 徒歩4分	藤沢市藤沢515-1	0466-53-1045
第一イン湘南	JR辻堂駅 徒歩2分	藤沢市辻堂1-4-14	0466-36-4411
鎌倉パークホテル	JR鎌倉駅 タクシー10分	鎌倉市坂ノ下33-6	0467-25-5121

併願制 一般選抜(共通テスト利用)前期  
一般選抜(共通テスト利用)後期

一般選抜(共通テスト利用)前期・後期で求める人材

一般選抜(共通テスト利用)前期・後期では下記の(1)~(3)すべてに該当する人材を求めます。

- 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- 各学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。

出願資格

大学入試センターが示す出願資格を有し、当該年度の大学入学共通テストに出願し、本学の学部・学科指定の教科・科目を登録した女子。

選抜方法

2022(令和4)年度大学入学共通テストおよび調査書により選抜を行います。

日程

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
一般選抜 (共通テスト利用)前期	2022年 1月4日(火)~2月4日(金)	個別試験 実施せず	2022年2月15日(火)	一括 2022年2月22日(火) 二段階 1次:2022年2月22日(火) 最終:2022年3月1日(火)*
一般選抜 (共通テスト利用)後期	2022年 2月14日(月)~3月3日(木)		2022年3月11日(金)	2022年3月18日(金)

※ 一般選抜(共通テスト利用)前期の入学手続納入金の納入方式は、一括納入方式と二段階納入方式(1次締切日までに入学金、最終締切日までに残金を納入)の選択制。

## 試験教科・科目(前期・後期)

学部・学科		教科数	教科	科目	
大 学	家政学部	家政保健学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	
			外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング) リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。	
	児童学部	児童学科 子ども心理学科	2教科2科目選択 ※3教科以上受験した場合は、 高得点の2教科・科目を合否判定に使用	地理歴史 または 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」
				数学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」
	教育学部	教育学科		理科	「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」基礎は2科目で1科目扱い
	家政学部	管理栄養学科	1教科選択 ※2教科以上受験した場合は、 高得点の1教科・科目を合否判定に使用	国語	「国語」(近代以降の文章)
				外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング) リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。
			1科目選択 ※2科目以上受験した場合は、 高得点の1科目を合否判定に使用	数学 または 理科	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」 「化学」「生物」「化学基礎」「生物基礎」のいずれか1科目
	短期 大学部	初等教育学科	1教科1科目選択 ※2教科以上受験した場合は、 高得点の1教科・科目を合否判定に使用	国語	「国語」(近代以降の文章)
				外国語	「英語」(リーディングおよびリスニング) リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。
地理歴史 または 公民				「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
数学				「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」	
			理科	「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」基礎は2科目で1科目扱い	

## 出願書類

- 志 願 票 インターネットでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。  
(プリンター出力したもの) 詳細は37ページ「インターネット出願の利用について」を参照してください。  
※「令和4大学入学共通テスト成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)」の貼付が必要となります。  
※過年度の成績は利用できません。
- 写 真 タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)  
写真の裏面に氏名・志望学科を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは41ページを参照)
- 調 査 書 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

- 高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。  
免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」また「調査書」も提出。
- 外国における12年の課程を修了した者は、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。

※一般選抜も合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、調査書は1通提出してください。

※大学入学共通テストにおいて、病気・負傷や障害等のために「受験上の配慮事項審査結果通知書」をもって受験され、就学の際に配慮等を希望する場合は、志願票と一緒に結果通知書の写しを提出してください。

## 入学検定料

15,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については39ページを参照してください。

※一般選抜(共通テスト利用)には、「入学検定料免除制度」は適用されません。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

## ▶ 共通テスト併願割引制度

「一般選抜(共通テスト利用)前期」・「一般選抜(共通テスト利用)後期」において、学部と短期大学部を併願する場合も含め、1回の入学検定料(15,000円)で学科数の上限なく複数出願できます。大学入学共通テストの受験科目によっては全学科併願も可能です。

【併願パターンの一例】			
小学校教諭を目指す受験生は…			
児童学科	子ども心理学科	教育学科	初等教育学科(短大)
15,000円	+	0円	+
		0円	+
			0円
= 合計15,000円			
4学科を1回分の入学検定料(15,000円)で出願!			
養護教諭を目指す受験生は…			
家政保健学科	子ども心理学科		
15,000円	+	0円	
= 合計15,000円			
2学科を1回分の入学検定料(15,000円)で出願!			

## 合格発表

- 合格発表は郵送をもって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書および入学手続き書類を発送します。(簡易書留・速達) **不合格者に対する文書での通知は行いません。**
- 合否については合格発表当日、インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)を利用した合否案内システムでも発表します。詳しくは43ページ「合格発表について」を参照してください。正式の合格通知は、文書をもって行います。
- 学内掲示・レタックス等での発表は行いません。
- 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

## 繰り上げ合格について

入学手続き状況により、不合格者のなかから繰り上げ合格を発表することがあります。繰り上げ合格となった場合には、出願時に登録(入力)された電話番号もしくは携帯番号への電話連絡により入学の意思確認を行った上で、合格通知書を郵送します。

## 入学手続

- 入学手続き書類は、入学手続締切日(消印有効)までに郵送してください。
- 入学手続時納入金(詳しくは44ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください。  
所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- 前①、②の手続を完了(完納)した方には、入学手続締切日以降14日以内に「入学許可書」を送付します。

## 入学辞退に伴う学費の返還について

一般選抜(共通テスト利用)で入学手続を完了した者が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、**入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに**入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。返還手続は、次の要領で行ってください。

- 受付期限  
**2022年3月31日(木) 17:00まで**
- 返還手続書類  
1) 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙) 2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し  
3) 本学の入学手続時納入金の振込領収書の写し
- 返還方法  
返還手続書類を受理した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

## 入学金スライド制度

既に本学の学科に入学手続を完了している方が、その後他学科に合格し入学手続をする場合、入学手続期間内に入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ、所定の手続を行うことにより、納入した入学金をスライドすることができます。入学を担保しながら他学科へ挑戦することができます。

## 併願制 社会人特別選抜

### 社会人特別選抜で求める人材

社会人特別選抜では下記の(1)～(4)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 社会経験(専業主婦を含む)を有し、勉学に対しての目的意識が明確な人。
- (2) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (3) 社会経験等により、他の学生に好ましい影響を与えることが期待できる人。
- (4) 各学科の求める基礎的な事項を修得している人。

### 出願資格

文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2022年3月31日までに有する見込みの女子で2022年4月1日現在、満23歳以上かつ社会経験(専業主婦を含む)を有する者。(P.14参照)

### 募集人員

家政学部・児童学部・教育学部、短期大学部とも  
各学科 若干名

### 選抜方法

書類審査、小論文および面接により選抜を行います。

※面接では、志望する分野についての基礎的事項に関する問を含めます。

※小論文の試験時間は60分です。

### 日程・試験会場

出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験会場
2021年11月22日(月)～12月7日(火)	2021年12月12日(日)	2021年12月16日(木)	2021年12月23日(木)	本学(大船キャンパス)

※集合時間は、出願後送付される受験票の記載により指示されますので確認してください。(指示された時間の変更はできません)

### 障害や疾病のある受験生への特別措置

受験において特別な措置が必要な場合や就学する上において支援が必要な場合は、出願書類提出前のできるだけ早い時期に、必ず[入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)]に申し出てください。

### 出願書類

- 志願票** インターネットでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。  
(プリンター出力したもの) 詳細は37ページ「インターネット出願の利用について」を参照してください。  
**写真** タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)  
写真の裏面に氏名・志望学科を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは41ページを参照)
- 調査書** 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)  
調査書が入手できない場合は、出身高等学校の「卒業証明書」および「成績証明書」を提出してください。
- 入学希望理由書** 本学所定用紙(本学ホームページからダウンロードできます)  
(社会人特別選抜用)

### 入学検定料

30,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については39ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

### 受験上の注意

- ① 集合時間は、出願後送付される受験票の記載により指示されますので確認をしてください。(指示された時間の変更はできません)
- ② 試験室・控室への入室は、集合時間の30分前からです。
- ③ 試験当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
- ④ 試験会場内では受験票を常に携帯し、小論文の時間中は机の上に置いてください。  
紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ⑤ 試験室入室後は、スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。  
机には受験票と筆記用具しか置けませんので、置き型の時計は使用できません。  
また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ⑥ 小論文の時間中は受験票と筆記用具以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。小論文試験は60分です。  
試験途中の退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、**退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。**
- ⑦ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)、新型コロナウイルス感染症を罹患し治癒していない方および試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方(無症状でPCR検査等において陰性が確認された者を除く)は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車の来校は、駐車場がありませんのでご注意ください。

### 合格発表

- ① 合格発表は郵送をもって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書および入学手続書類を発送します。(簡易書留・速達)
- ② 合否については合格発表当日、インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)を利用した合否案内システムでも発表します。  
詳しくは43ページ「合格発表について」を参照してください。正式の合格通知は、文書をもって行います。
- ③ 学内掲示・レタックス等での発表は行いません。
- ④ 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

### 入学手続

- ① 入学手続書類は、入学手続締切日(消印有効)までに郵送してください。
- ② 入学手続時納入金(詳しくは44ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください。  
所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③ 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。また、入学手続時納入金の分納もできません。
- ④ 前①、②の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内に「入学許可書」を送付します。

### 入学辞退に伴う学費の返還について

社会人特別選抜で入学手続を完了した者が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、**入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。**

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ① 受付期限  
2022年3月31日(木) 17:00まで
- ② 返還手続書類  
1) 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)  
2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し  
3) 本学の入学手続時納入金の振込領収書の写し
- ③ 返還方法  
入学辞退届受領後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

# インターネット出願の利用について

## インターネット出願の利用について

① 本学の入試は、インターネットを利用した「インターネット出願」となります。利用につきましては、以下の各項目を確認してください。

インターネット環境をお持ちでない方はご相談ください。 鎌倉女子大学 入試・広報センター TEL:0467-44-2117

- ② 出願書類受付後、順次受験票を発送します。受験票が届いたら、ただちに記載事項に誤りがないか確認してください。記載事項に誤りがあった場合や、試験前日までに届かない場合は、入試・広報センター (TEL:0467-44-2117) まで連絡してください。
- ③ 入学検定料の振込を済ませても出願書類一式が提出されない場合は、受験できません。
- ④ 出願後の入試区分、志望学科の変更はできません。

## インターネット出願登録期限・検定料支払い期限・出願書類提出期限

インターネット出願サイトで出願登録をただけでは、正式な出願となりません。

出願サイトで出願登録後、入学検定料の納入を完了させ、出願書類を下記提出期限日までに提出することで出願受理となります。出願書類等に不足や不備が認められた場合、正式な出願が認められないことがありますので、余裕をもって出願してください。

入試区分	インターネット出願登録期限日時	検定料支払い期限日時*	出願書類提出期限日
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)I期	9月16日(木)17:00まで	9月16日(木)17:00まで	【郵送】9月16日(木)(消印有効)
総合型選抜(学部・専願制/高大接続)	9月30日(木)17:00まで	9月30日(木)17:00まで	【郵送】9月30日(木)(消印有効)
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)II期	12月7日(火)17:00まで	12月7日(火)17:00まで	【郵送】12月7日(火)(消印有効)
学校推薦型選抜(学部・専願制/一般)	11月11日(木)17:00まで	11月11日(木)17:00まで	【郵送】11月11日(木)(消印有効)
学校推薦型選抜(短大・併願制/一般)	11月11日(木)17:00まで	11月11日(木)17:00まで	【郵送】11月11日(木)(消印有効)
一般選抜(学部/特待生チャレンジ)	1月17日(月)17:00まで	1月17日(月)17:00まで	【郵送】1月17日(月)(消印有効)
一般選抜(短大/特待生チャレンジ)	1月17日(月)17:00まで	1月17日(月)17:00まで	【郵送】1月17日(月)(消印有効)
一般選抜(学部)前期	1月28日(金)17:00まで	1月28日(金)17:00まで	【郵送】1月28日(金)(消印有効)
一般選抜(短大/国語1教科)前期	1月28日(金)17:00まで	1月28日(金)17:00まで	【郵送】1月28日(金)(消印有効)
一般選抜(学部)後期	2月28日(月)17:00まで	2月28日(月)17:00まで	【郵送】2月28日(月)(消印有効)
一般選抜(短大/国語1教科)後期	2月28日(月)17:00まで	2月28日(月)17:00まで	【郵送】2月28日(月)(消印有効)
一般選抜(共通テスト利用)前期	2月4日(金)17:00まで	2月4日(金)17:00まで	【郵送】2月4日(金)(消印有効)
一般選抜(共通テスト利用)後期	3月3日(木)17:00まで	3月3日(木)17:00まで	【郵送】3月3日(木)(消印有効)
社会人特別選抜	12月7日(火)17:00まで	12月7日(火)17:00まで	【郵送】12月7日(火)(消印有効)

\*コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)ATMでの支払いの場合、検定料の支払い期限は出願登録翌日の23:59までとなります。また、出願登録期限日(最終日)の振込最終時間は17:00までとなりますのでご注意ください。

## インターネット出願前の準備

### ① 推奨ブラウザとバージョン

PCブラウザ	■Windows: Internet Explorer バージョン11.X / Microsoft Edge(最新バージョン) Google Chrome(最新バージョン) / Firefox(最新バージョン) ■MacOS: Safari(最新バージョン) ※ブラウザの設定について どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。 ※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。 セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。
スマートフォン・タブレット	■Android:5.0以上(Android Chrome最新バージョン) ■iOS:10.0以上(Safari最新バージョン)
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。 既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

- ② プリンター: A4用紙がプリントできる機種を用意してください。
- ③ 電子メールアドレス: ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(GmailやYahoo!メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ④ 調査書: 41ページを参照してください。
- ⑤ 入学希望理由書[学校推薦型選抜・社会人特別選抜のみ]: 41ページを参照してください。
- ⑥ 推薦書[学校推薦型選抜のみ]: 41ページを参照してください。
- ⑦ 令和4大学入学共通テスト成績請求票[一般選抜(共通テスト利用)のみ]: 41ページを参照してください。
- ⑧ 写真: 41ページを参照してください。
- ⑨ 封筒: 市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)

## インターネット出願の手順

### STEP 1

#### アカウントを作成する

鎌倉女子大学ホームページ内の「インターネット出願」のバナーをクリックしてインターネット出願サイト「Post@net」にアクセスする。

URL <https://www.kamakura-u.ac.jp/prospective/webentry>



【アカウント作成】2022年度入試に初めて出願する方は、下記手順に従ってアカウントの作成をしてください。これまで2022年度入試に出願したことがある方はSTEP2の「2回目以降の出願登録について」を参照してください。

- ① Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ② 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワード等を入力して「登録」ボタンをクリック。
- ③ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- ④ 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑤ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。

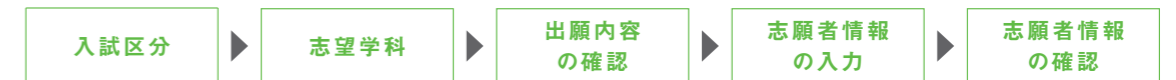
【ログイン】下記手順に従ってログインし、お気に入り学校の登録をしてください。

- ① メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ② 「学校一覧」から「鎌倉女子大学」を検索してください。

### STEP 2

#### 出願登録

「出願登録」ボタンをクリックして下記手順により出願登録を行ってください。



※出願した内容を十分確認してください。

1月4日(火)から1月17日(月)17:00までの期間は一般選抜(特待生チャレンジ)と一般選抜(前期)の同時出願を行うことができます。1度の入力が出願登録が完了できますので、同時出願されることをおすすめします。入学検定料免除制度が適用されるため、一般選抜(前期)の入学検定料は免除されます。また、学部と短大を併願する場合や、学部の第2志望を申請する場合も検定料は1学科分です。

#### 【2回目以降の出願登録について】

これまで2022年度入試に出願したことがある方は、「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「追加出願」ボタンをクリックして出願してください。入試区分の選択画面にある「入学検定料免除制度を利用する」のチェックボックスにチェックを入れて出願することで入学検定料が免除されます。

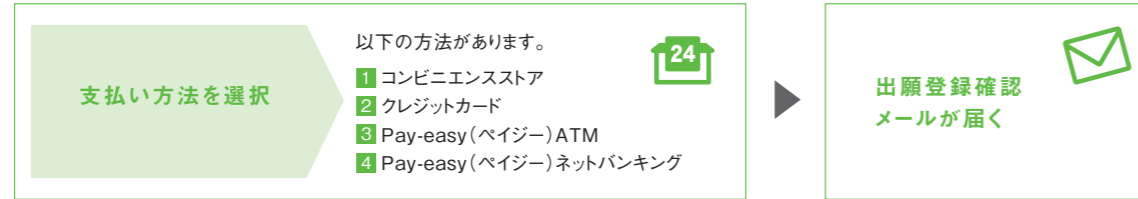
- ・総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜を受験したことがある方
- ・総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校含む)を受験し入学手続きを完了された方で、一般選抜(特待生チャレンジ)の出願を行う方

- 前回入試の受験番号の入力が必要です
- 初めて出願する場合はSTEP1のアカウント作成から行ってください

STEP  
3

出願登録完了、入学検定料支払いの手続きへ

出願登録完了後入学検定料の支払い方法を選択してください。



入学検定料	総合型選抜 学校推薦型選抜 一般選抜 社会人特別選抜	30,000円	一般選抜 (共通テスト利用)	15,000円
-------	-------------------------------------	---------	-------------------	---------

- すべての支払い方法に対して入学検定料のほかに、**払込手数料が別途必要**です。
- 出願登録確認メールが届かない場合はPost@netへログインし、「出願内容一覧」画面から出願登録されているかを確認してください。
- 出願した内容およびお支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。印刷されない場合は出願登録番号(11桁)を必ずメモしておいてください。  
※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。
- コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)ATMをご利用の場合は、お支払方法選択後、入学検定料の支払いに必要な番号が表示されます。必ず番号をメモしてください。検定料の支払い期限は**出願登録翌日の23:59まで**となります。**出願登録期限日(最終日)の支払い最終時間は17:00まで**となりますので注意してください。

➡ 支払い方法を選択

クレジットカードでの支払い **Webで手続き完了**

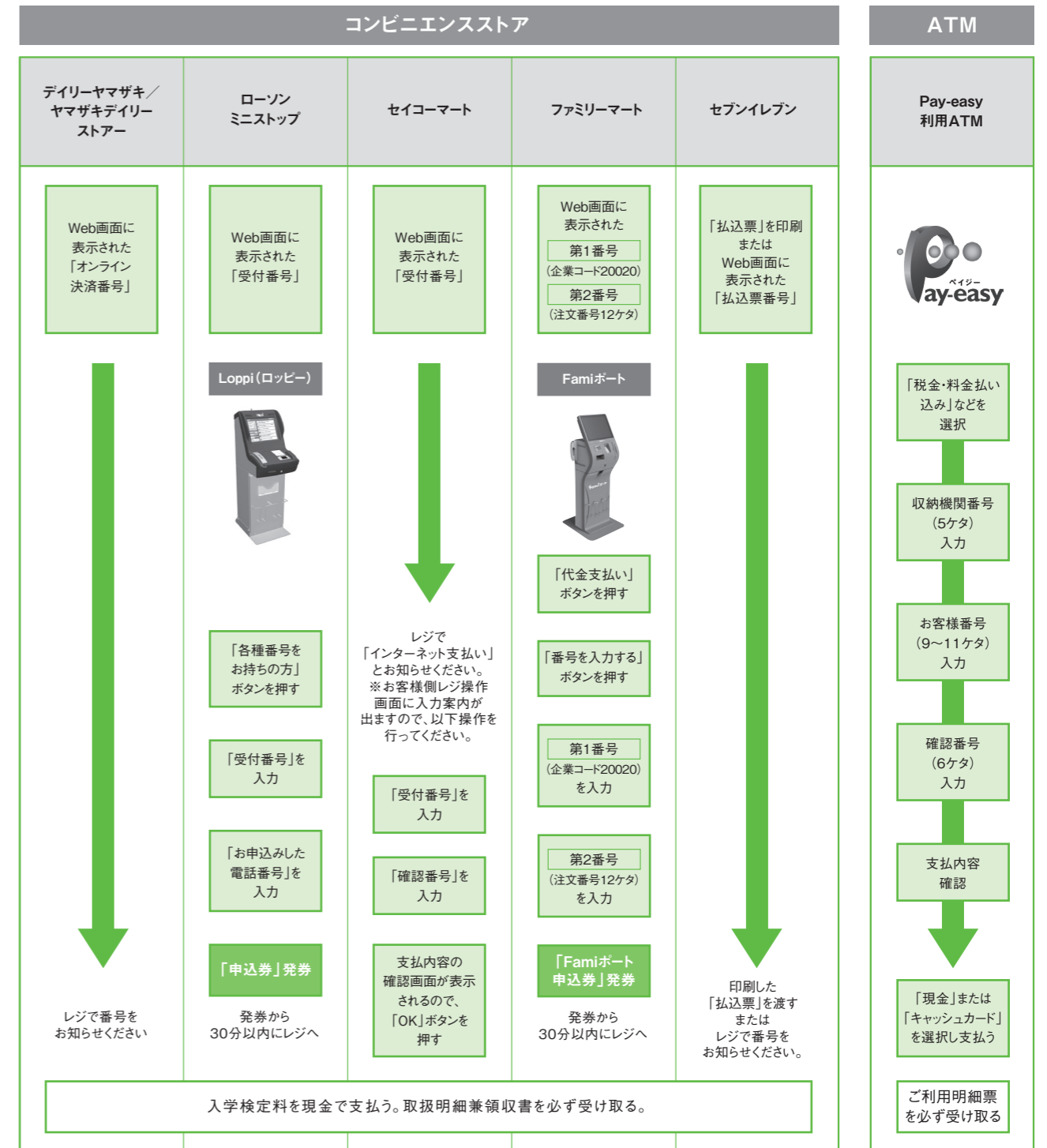
出願情報の入力時に、選択し支払いができます。

Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングでの支払い **Webで手続き完了**

支払い可能な金融機関一覧より選択し、支払い手順をご確認の上入学検定料をお支払いください。  
※ご利用にはネットバンキングの利用契約が必要です。

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)ATMでの支払い

支払い期限は**出願登録翌日の23:59まで**となります。(出願登録期限日(最終日)の支払い最終時間は**17:00まで**となります。)



※上記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。

STEP 4

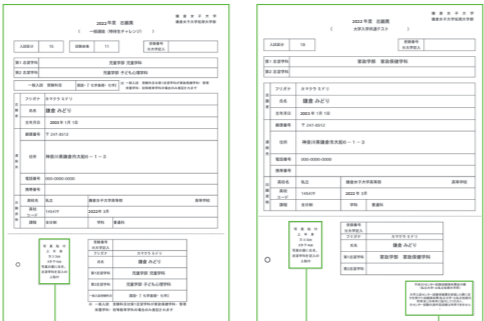
必要書類(「志願票」「封筒貼付用宛名シート」)をプリンターで出力

入学検定料のお支払い後に、登録されたメールアドレスに「インターネット出願支払完了」メールが送信されますので、メール内に記載のURLにアクセスして「志願票」と「封筒貼付用宛名シート」を印刷してください。  
入学検定料免除制度を利用して一般選抜(特待生チャレンジ)・(前期)を同時出願する場合、「志願票」は2枚出力されます。写真はそれぞれに貼付してください。

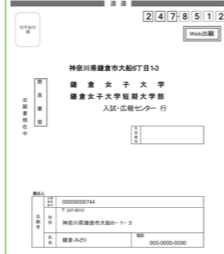
- メール内のURLよりPost@netへログインし、「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「出願内容を確認」を選択し「志願票」、「封筒貼付用宛名シート」のダウンロードボタンをクリックして印刷
- ページの拡大、縮小はなし。A4サイズで印刷

志願票

(総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人特別選抜) (一般選抜(共通テスト利用))

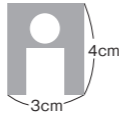


封筒貼付用宛名シート



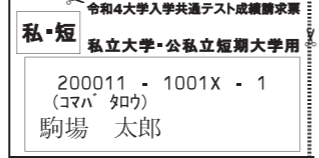
+

写真貼付



上半身、正面、無帽、背景無地、縦4cm横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを使用。(カラー・白黒どちらでも可)裏面に氏名・志望学科を記入のうえ、しっかりと糊付けしてください。

一般選抜(共通テスト利用)の出願の際は「令和4大学入学共通テスト成績請求票(私立大学・公立短期大学用)」も貼付すること。



STEP 5

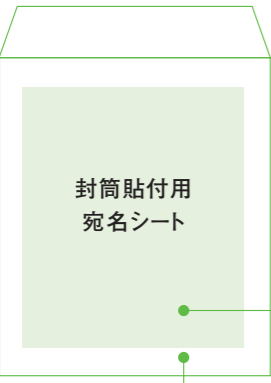
出願書類の提出

印刷した「志願票」に顔写真[一般選抜(共通テスト利用)の出願の際は「大学入学共通テスト成績請求票」も]を貼り付け、調査書を同封して郵便局窓口から郵送してください。一般選抜(特待生チャレンジ)・(前期)を同時出願する場合や、一般選抜と共通テスト利用を合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、調査書は1通同封してください。学部と短大を併願する場合も調査書は1通で構いません。

学校推薦型選抜を出願する際は、推薦書と入学希望理由書を、社会人特別選抜を出願する際は、入学希望理由書も必ず同封してください。

※鳥っ子応援奨学金(予約型)(46ページ参照)を申請する場合は、申請書類一式を同封してください。申請書類は本学公式ホームページからダウンロードすることができます。

[市販の角2封筒]



封筒貼付用宛名シート

写真を貼り付けたSTEP4の「志願票」

調査書

「封筒貼付用宛名シート」の出力ができない場合は、下記の宛先にお送りください。

出願登録番号(11桁)、郵便番号・住所・氏名を記入して必要書類を以下の送付先に簡易書留・速達で郵送してください。

〒247-8512  
神奈川県鎌倉市大船6-1-3  
鎌倉女子大学 入試・広報センター 行  
入試出願書類在中

・学校推薦型選抜: 推薦書+入学希望理由書  
・社会人特別選抜: 入学希望理由書

STEP4で印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付ける

市販の角2封筒 (A4サイズの書類が入る封筒)

出願完了

※出願書類提出期限日消印有効

登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を出願期間内に提出することで出願が完了します。

STEP 6

受験票の受け取り

出願書類受付後、順次受験票を発送します。受験票が届いたら、ただちに記載事項に誤りがないか確認してください。記載事項に誤りがあった場合や、試験前日までに届かない場合は入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡をしてください。試験当日は忘れずに持参してください。

[インターネット出願Q&A]

**Q** 自宅にパソコンやプリンターがない場合は出願できませんか?

**A** できます。自宅以外(学校等)のパソコンも利用可能です。プリンターがない場合は、一部のコンビニエンスストアにて、メディアリーダーを備えたコピー機があります。お持ちのメディアに印刷が必要なPDFファイルを入れて、コンビニエンスストア店頭へお持ちください。  
※やむを得ない事情がある場合は、入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に直接お問い合わせください。

**Q** メールアドレスがない場合はどうしたらいいですか?

**A** メールアドレスは、携帯電話やフリーメール(Gmail、Yahoo!メールなど)でも構いません。ご登録いただいたアドレスには、出願登録完了、入金完了の確認のご案内が送信されますので、必ず登録してください。携帯電話のアドレスの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信設定してください。

**Q** ポップアップがブロックされ画面が表示できません。

**A** GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップがブロックされ、ポップアップ画面が表示されない場合があります。インターネット出願サイトPost@netのポップアップを常に許可するよう設定してください。

**Q** 氏名や住所の漢字が登録の際にエラーになってしまいます。

**A** 氏名(日本国籍の方は、戸籍簿に記載されている氏名)や住所などの個人情報を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字(なければカナ)を入力してください。なお、氏名に限り対応できる範囲で正しい漢字で登録することは可能です。ただし、原則として本学のコンピューターで使用できる漢字とします。

**Q** 登録した個人情報は安全に保護されますか?

**A** 数多くの大学で採用されているインターネット出願システムを採用しています。個人情報を保護するセキュリティ面でも実績がありますので、ご安心ください。

**Q** 出願登録後に入力内容の誤りに気づいた場合変更できますか?

**A** 入学検定料の支払い前であれば手続きを中止し、Post@netへログインした後から再度出願手続きをしてください。なお、入学検定料支払い後、出願サイトからの変更はできませんので入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)までご連絡ください。出願登録後の入試区分、志望学科の変更はできません。

**Q** 出願登録した後で確認できますか?

**A** 出願登録後、Post@netへログインし「出願内容一覧」から自分が登録した内容を確認できます。なお、出願書類受付後、順次受験票を発送します。受験票が届いたら、ただちに記載事項に誤りがないか再度確認してください。

## [合格発表について]

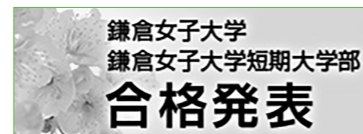
- 合格発表は郵送をもって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書および入学手続書類を発送します。(簡易書留・速達)
- 合格通知の未着を理由とした入学手続期間の延長は認めませんので十分注意してください。
- 合格発表は、インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)を利用した合否案内システムでも発表します。  
利用日時、利用方法等については以下の通りです。よく読んで間違いのないように利用してください。  
総合型選抜、学校推薦型選抜の入学手続完了者の一般選抜(特待生チャレンジ)も同様にインターネットシステムで結果を案内します。
- 学内掲示・レタックス等での発表は行いません。また、電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

区分	合否案内システム利用日時
総合型選抜(学部・専願制/高大接続)	11月1日(月)8:30~11月2日(火)17:00
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)I期	11月1日(月)8:30~11月2日(火)17:00
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)II期	12月16日(木)8:30~12月17日(金)17:00
学校推薦型選抜(学部・専願制/一般)	12月1日(水)8:30~12月2日(木)17:00
学校推薦型選抜(短大・併願制/一般)	12月1日(水)8:30~12月2日(木)17:00
一般選抜(学部/特待生チャレンジ)	1月27日(木)8:30~1月28日(金)17:00
一般選抜(短大/特待生チャレンジ)	1月27日(木)8:30~1月28日(金)17:00
一般選抜(学部)前期	2月15日(火)8:30~2月16日(水)17:00
一般選抜(短大/国語1教科)前期	2月15日(火)8:30~2月16日(水)17:00
一般選抜(学部)後期	3月11日(金)8:30~3月12日(土)17:00
一般選抜(短大/国語1教科)後期	3月11日(金)8:30~3月12日(土)17:00
一般選抜(共通テスト利用)前期	2月15日(火)8:30~2月16日(水)17:00
一般選抜(共通テスト利用)後期	3月11日(金)8:30~3月12日(土)17:00

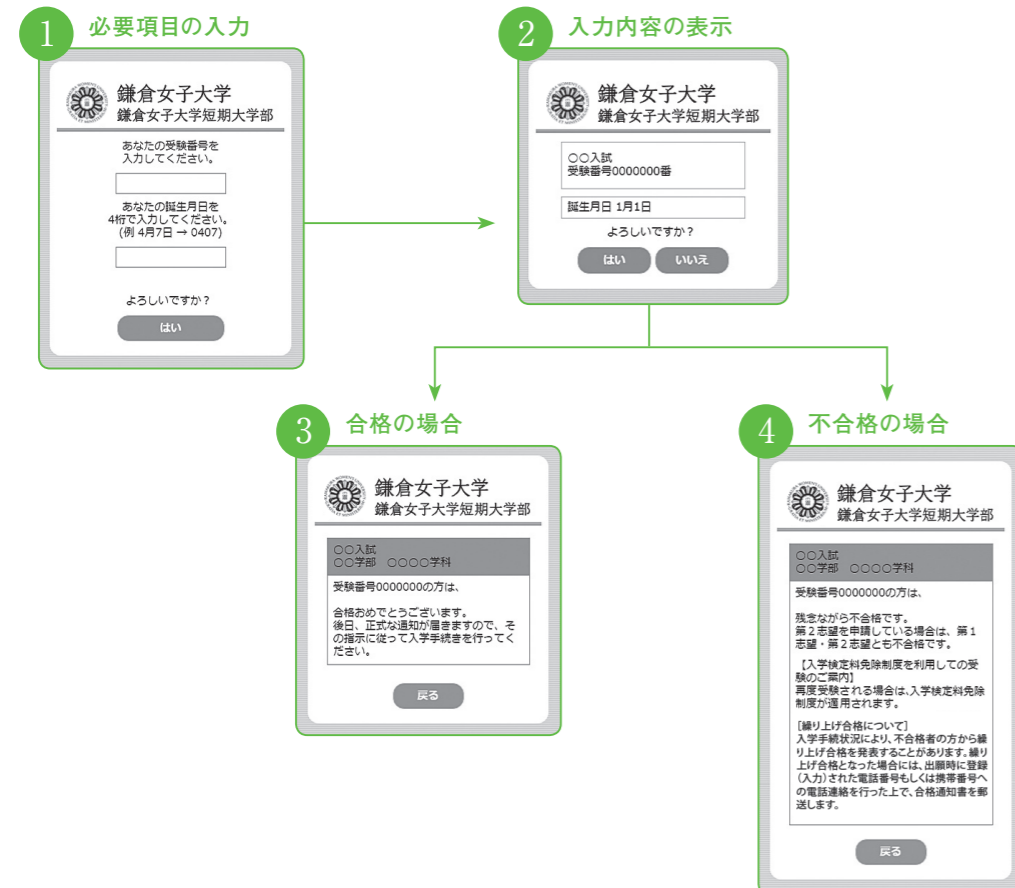
### インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)による合否案内システムの手順

URL <https://www.kamakura-u.ac.jp/prospective/gouhi>

鎌倉女子大学ホームページ内の「合格発表」のボタンをクリックして合否結果を確認してください。



パソコン・スマートフォン・携帯電話による照会方法 ※実際の画面と見た目が異なる場合があります。



## [学費・その他の納入金]

### 学費・その他の納入金一覧

2022年度学納金(予定)

区分	学部・学科	大学					短期大学部	
		家政学部		児童学部		教育学部	初等教育学科	
		家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科		
初年度納入金	入学手続時	学費						
		入学金	380,000円	380,000円	380,000円	380,000円	380,000円	380,000円
		授業料	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円
		教育環境充実費	100,000円	103,000円	98,000円	98,000円	98,000円	95,000円
		実験実習費	93,000円	100,000円	90,000円	90,000円	90,000円	87,500円
	その他	文化厚生費	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円
	入学手続時計	900,500円	910,500円	895,500円	895,500円	895,500円	890,000円	
	秋学期	学費						
		授業料	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円	320,000円
		教育環境充実費	100,000円	103,000円	98,000円	98,000円	98,000円	95,000円
実験実習費		93,000円	100,000円	90,000円	90,000円	90,000円	87,500円	
その他		文化厚生費	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円
秋学期計	520,500円	530,500円	515,500円	515,500円	515,500円	510,000円		
初年度納入金合計		1,421,000円	1,441,000円	1,411,000円	1,411,000円	1,411,000円	1,400,000円	
2年次納入金		1,041,000円	1,061,000円	1,031,000円	1,031,000円	1,031,000円	1,026,000円	
3年次納入金		1,041,000円	1,061,000円	1,031,000円	1,031,000円	1,031,000円		
4年次納入金		1,047,000円	1,067,000円	1,037,000円	1,037,000円	1,037,000円		
総計		4,550,000円	4,630,000円	4,510,000円	4,510,000円	4,510,000円	2,426,000円	

※4月から9月までが春学期、10月から3月までが秋学期となります。授業料・教育環境充実費・実験実習費・文化厚生費は1年間を2期に分けて納入していただきます。

秋学期の納入時期等については入学後に別途連絡いたします。

※一般選抜(学部/特待生チャレンジ)、一般選抜(短大/特待生チャレンジ)、一般選抜(学部)前期、一般選抜(短大/国語1教科)前期、一般選抜(共通テスト利用)前期は、一括納入方式と二段階納入方式(1次締切日までに入学金、最終締切日までに残金を納入)の選択制となります。

※学費・その他の納入金には消費税は課税されません。

※同窓会終身会費6,000円は、卒業年度の秋学期に納入していただきます。

※資格取得に要する履修費(1資格20,000円)、介護等体験参加費、学習上必要とする教材費などについては入学後に別途納入していただきます。

※入学に際し、学債・寄付金等は一切徴収いたしません。

## [入学時納入金について]

入学時納入金は、指定した入学時納金締切日(当日収納印有効)までに納入していただきます。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されません。入学時納入金の納入方式は入試区分により、一括納入方式と二段階納入方式があります。入試区分によっては一括納入方式のみの納入方法となりますので、ご注意ください。なお、入学時納入金の分納はできません。

### ■ 入学時納金締切日

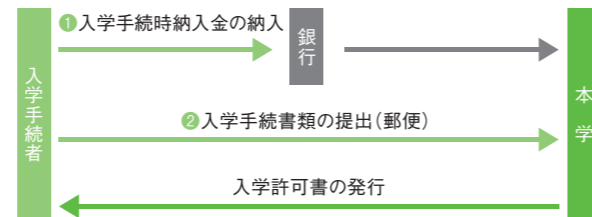
入試区分	納入方式	一括および二段階1次 納金締切日	二段階 最終納金締切日
総合型選抜(学部・専願制/高大接続)	一括	11月15日(月)	
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)I期	一括	11月15日(月)	
総合型選抜(短大・併願制/保育者適性)II期	一括	12月23日(木)	
学校推薦型選抜(学部・専願制/一般)	一括	12月10日(金)	
学校推薦型選抜(短大・併願制/一般)	一括	12月10日(金)	
一般選抜(学部/特待生チャレンジ)	一括または二段階	2月8日(火)	3月1日(火)
一般選抜(短大/特待生チャレンジ)	一括または二段階	2月8日(火)	3月1日(火)
一般選抜(学部)前期	一括または二段階	2月22日(火)	3月1日(火)
一般選抜(短大/国語1教科)前期	一括または二段階	2月22日(火)	3月1日(火)
一般選抜(学部)後期	一括	3月18日(金)	
一般選抜(短大/国語1教科)後期	一括	3月18日(金)	
一般選抜(共通テスト利用)前期	一括または二段階	2月22日(火)	3月1日(火)
一般選抜(共通テスト利用)後期	一括	3月18日(金)	

### ■ 入学時納金締切日までにを行う手続き

#### ■ 一括納入方式

一括納金締切日までに「入学時納入金」全額の納入と「入学時納金書類」の提出を行うことで入学時納金を完了します。

※「一括納入方式」は、本学の他に併願校がない場合や本学が第一志望である場合に適した納金方法です。



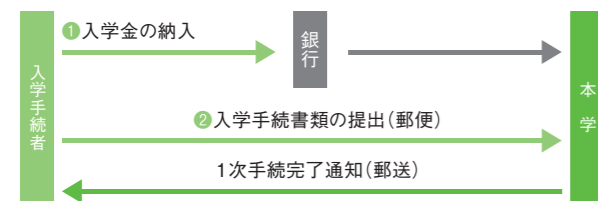
#### ■ 二段階納入方式

1次納金締切日までに「入学金」の納入と「入学時納金書類」の提出を済ませた後、「納入金残金」の納入を最終納金締切日

[2022年3月1日(火)]までに行うことで入学時納金を完了します。

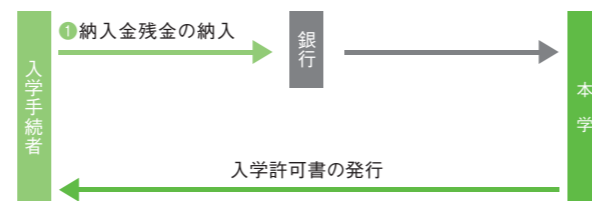
※「二段階納入方式」は、本学の他に他大学を併願しており、それらの大学の合格発表を検討しながら本学への入学を希望する場合に適した納金方法です。

#### ■ [1次手続]



※いったん納入された入学金は返還いたしません。

#### ■ [最終手続] 2022年3月1日(火)までに行う手続き



入学辞退に伴う学費の返還についての詳細は、学校推薦型選抜(短大・併願制/一般)(24ページ)、一般選抜(30ページ)、大学入学共通テスト(34ページ)、社会人特別選抜(36ページ)をご覧ください。

## [高等教育の修学支援新制度]

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。新制度では、日本学生支援機構給付奨学金と併せて授業料等減免が受けられます。

日本学生支援機構給付奨学金の「予約採用」の手続をされ、採用候補決定通知を受けた方も、入学時納金締切日までに入学時納入金全額の納入していただきます。入学後、所定の手続を行うことにより奨学金の給付および減免額の還付を受けることが可能となります。

## [特待生チャレンジ]

「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の入学時納金完了者も「一般選抜(学部/特待生チャレンジ)」・「一般選抜(短大/特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。

「一般選抜(学部/特待生チャレンジ)」・「一般選抜(短大/特待生チャレンジ)」のすべての受験者が選考の対象になります。特待生としての合格枠は、大学は入学定員の1割にあたる50名、短期大学部は5名です。成績優秀者(試験の成績及び「調査書(主体性等の観点評価)」で選考)に対して1年次640,000円を給費。2年次以降(最長4年)は320,000円が給費されます。(ただし、2年次以降、前年の年間の成績が基準(GPA3.0)を下回った場合は支給されません。また、それ以降の年度においても支給されません。)

## [奨学金]

### ■ 鎌倉女子大学の奨学金

鎌倉女子大学には、次の奨学金があります。給費または学費減免による奨学金制度で学生生活をサポートしています。

※在学期間中、本学が定める奨学金を重複して受けることはできません。

#### 1. 鳥っ子応援奨学金

予約型

沖縄県および島しょ地域の居住者で、本学が定める収入等の基準を満たしている受験生を対象として、入学時納入金から430,000円を学費減免します。予約制ですので、受験する前に学費減免の対象となるかを確認することができます。

※社会人特別選抜は除く。

#### 2. フリージア奨学金(給費)

経済的理由により修学が困難であると認められ、かつ本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となる学生を奨励します。

対象	大学院、大学、短期大学部の全学年
審査	申請に基づき、家計状況・学業成績・人物により審査します。
金額	年間240,000円(単年度限り)

#### 3. スペリオール奨学金(給費)

本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となり、かつ優秀な成績を修めている学生を奨励します。

対象	大学院2年次、大学3・4年次、短期大学部2年次
審査	前年度の成績優秀者を対象に審査します。
金額	年間240,000円(単年度限り)

### ■ 日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度です。経済的理由により修学に困難がある優れた学生を対象としています。最新の情報は、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

第一種奨学金 (無利子貸与)	20,000円～64,000円 (大学・短大/自宅・自宅外により異なる)
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円 (希望の月額を選択)

申込み方法には、入学前に高等学校等で手続きをする「予約採用」と入学後に手続きをする「定期採用」があります。

※2021年4月1日現在

※最新の情報は、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

### ■ 保育士修学資金貸付制度

保育士をめざす学生を対象に、各自治体の社会福祉協議会等が実施する修学資金の貸付制度があります。この貸付制度は、修学資金の貸付を受けた自治体内で保育士として一定期間従事する等の条件を満たすことにより、全額返還免除を受けられます。詳細は、学生センター窓口へお問い合わせください。

### ■ その他の奨学金

都道府県や各地方自治体等の公共機関や、企業等が独自で基金を設けて行う奨学金制度があります。これらの奨学金は募集対象や金額、申込期間などがそれぞれ異なります。募集については学生センター掲示板でお知らせします。

## [国の教育ローン(日本政策金融公庫)]

入学・在学するために必要となる資金に対する公的な融資制度です。学生1人につき350万円を限度として固定金利で融資を受けることが可能です。また、在学期間中利息のみの返済とすることができます。詳しくは下記のコールセンターへお問い合わせください。

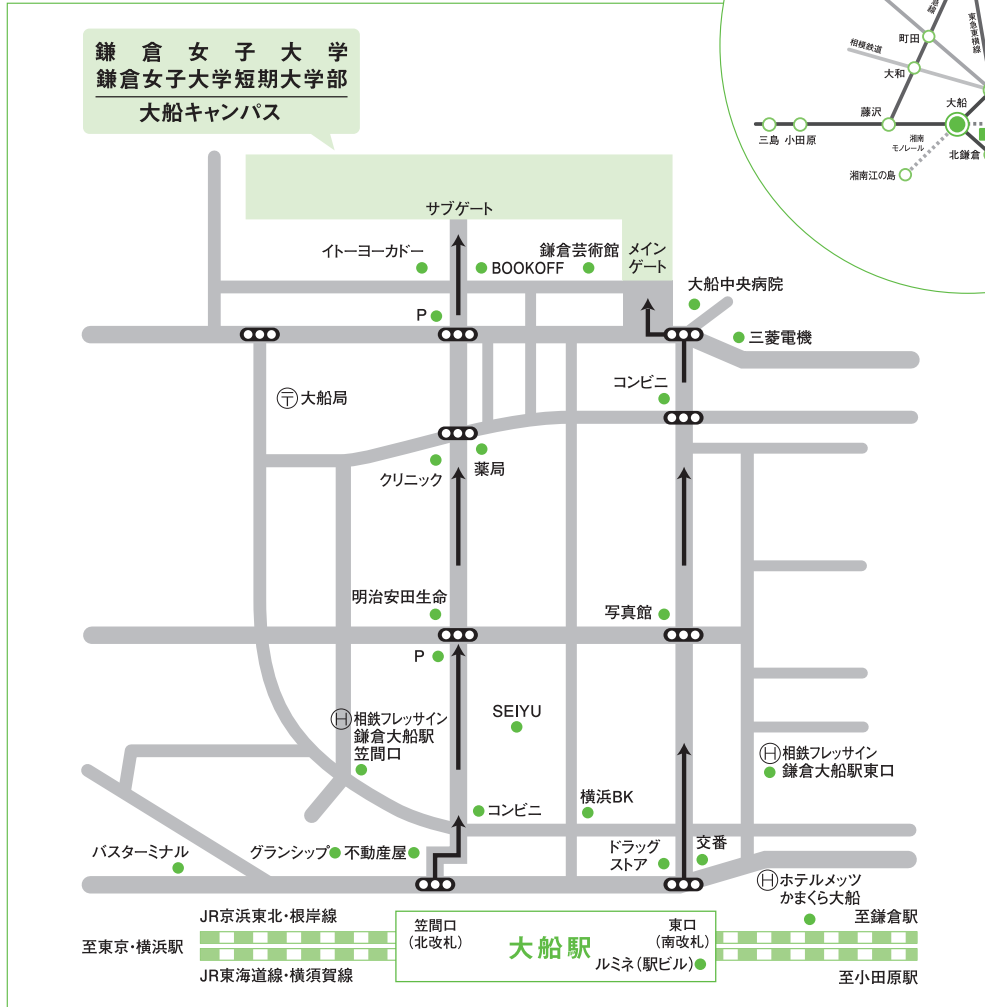
[日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター]0570-008656(ナビダイヤル)

※上記番号が利用できない場合 03-5321-8656



## 交通アクセス(大船キャンパス)

- JR東海道線／湘南新宿ライン／上野東京ライン／横須賀線／京浜東北・根岸線の「大船駅」下車、東口(南改札)または笠間口(北改札)徒歩8分。  
(東京駅から大船駅までJR東海道線・横須賀線で約40分、横浜駅から約15分、藤沢駅から約5分)



鎌倉女子大学  
鎌倉女子大学短期大学部

〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3  
PC・スマートフォン: <https://www.kamakura-u.ac.jp>

入学試験に関する問い合わせ先

入試・広報センター  
TEL: 0467-44-2117(直通) FAX: 0467-44-1168